



令和6年度
ニうちこどもファンド
事業報告書



【 目 次 】

1 令和6年度事業スケジュール	2
2 助成を決定する審査員等	3
3 公開審査会	4
4 助成団体の活動	6
5 活動発表会	7
6 事業成果報告	8
7 令和6年度高知市子どもまちづくり基金実績	37
8 今後に向けて	38
【資料編】	39
・ 高知市子どもまちづくり基金条例	40
・ 高知市子どもまちづくり基金助成金交付要綱	41
・ 令和6年度活動発表会アンケート結果	43
・ 寄附者一覧表	51
・ 「子どもファンド通信」第46号（令和6年5月発行）	55
・ 「子どもファンド通信」第47号（令和6年10月発行）	59
・ 「子どもファンド通信」第48号（令和7年2月発行）	63



ごあいさつ

子どもたちが自ら高知のまちについて関心を持つきっかけとなり、「高知をもっと好きになってもらいたい」「高知で生まれ育ったことを誇りに思ってもらいたい」という思いで始めた「こうちこどもファンド」は、市民の皆様のご協力や、企業・団体・個人の皆様からのご賛同をいただき、制度開始から13年目を迎えました。

この間に、こどもファンドの活動団体やこども審査員の経験者が大人になり、令和6年度の活動発表会では、令和5年度に引き続き、経験者の皆さんに司会などの運営を行っていただいたことに加えて、こどもファンドを卒業し、独自の活動を続けている団体の特別発表も行われ、大学生や大人になってもこうちこどもファンドやまちづくりに関わってくれていることに感謝の気持ちで一杯です。

そして、高知大学では、「こうちこどもファンドアドバイザーサークル」が新設され、大学生がアドバイザーとして1年を通して助成団体のサポートを行ってくださいり、子どもたちへの支援体制がより一層充実したものとなりました。

このことは、こうちこどもファンドがより若者中心の運営となり、将来の高知市のまちづくりへの大きな希望を持てるとして、大変嬉しい気持ちです。

令和6年度は9団体の助成が決定し、助成団体の子どもたちは、それぞれ工夫しながら、異文化交流、ペットとの共生、若者向けの選挙啓発活動など様々な分野のまちづくり活動に取り組んでくださいました。公開審査会で助成が決定してから約8か月間の活動は、地域内外の方たちとの連携や交流を行うなど、普段の生活では味わえない様々な経験になったことと思います。子どもたちは、この経験をもとに、これからもまちづくりに関心を持ち続けていただければと思います。

さて、令和5年度のこども基本法の施行に伴い、「子どもの権利」が尊重され、子ども施策が総合的に推進されています。平成24年度から始まっているこうちこどもファンドは、こども基本法の理念を10年以上前から先取りしたものであり、本事業に対する県外からの視察も多く、これまで以上に全国的な注目の高まりを感じています。

最後になりますが、まちづくり活動に取り組んだ子どもたちの今後の活躍に期待するとともに、制度創設から携わっていただいている卯月先生、また制度の運営に関しまして重要な役割を担っていたこども審査員及びこども審査員サポーターの皆様、こどもファンドアドバイザー、そして活動を応援していただいた皆様に感謝を申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。



高知市長 桑名 龍吾

1 令和6年度事業スケジュール

	運営等	広報等
4月	7日 事前説明会 (会場：市民活動サポートセンター)	
5月	8日 助成事業応募締め切り	こどもファンド通信(第46号)発行
6月	9日 事前研修会 16日 公開審査会	
7月		
8月	助成団体の活動期間	
9月		
10月		こどもファンド通信(第47号)発行
11月		令和6年度公開審査会報告書 発行
12月		
7年1月		
2月		<ul style="list-style-type: none"> ・ こどもファンド通信(第48号)発行 ・ 市内近隣小中高校等へ、事業募集及び 第14期こども審査員募集案内ちらしの配布
3月	20日 活動発表会	

2 助成を決定する審査員等

(1) 審査員について

こうちこどもファンドの審査は、「大人審査員（こども審査員サポーター）」と「こども審査員」が一緒に行います。大人審査員（こども審査員サポーター）は、学識経験者・民間企業関係者・まちづくり活動関係者・行政などの分野からなる7名で構成されています。こども審査員は1年ごとに募集しており、令和6年度の第13期こども審査員は、小学校3年生から高校3年生までの11名で構成されました。こども審査員は、審査会の1週間前に「事前研修会・事前審査会」を行い、公開審査会に向けて準備を行いました。

○ 事前研修会

こどもファンドの事業趣旨を学ぶとともに、応募グループから出された申請書の内容について、大人・こども審査員が情報を共有し、自分たちが審査する時のポイント（審査項目）を話し合い、決定しました。その際、子どもたちが活発な議論ができるよう「こども審査員サポーター」にサポートしていただきました。また、公開審査会当日にも、こども審査員を支援する役割を担っていただきました。

○ 事前審査会

模擬プレゼンテーションを行い、決定したばかりの審査項目に添ってこども審査員が実際に審査を体験しました。

(2) 申請団体側のサポートについて

「こどもファンドアドバイザー」に、①こどもファンドへ応募するまでの企画を検討するとき②応募後、公開審査会での発表方法を考えるとき③助成決定後の活動時の3段階におけるアドバイスを行っていただきました。

■こども審査員

植村 優	附属小学校3年	増田 善文	高知中学校2年
岡田 航佑	初月小学校5年	高橋 奏	国際中学校3年
川上 ひかり	朝倉小学校6年	増田 光祥	高知高校3年
高橋 莉	大津小学校6年	小山 琴歌	丸の内高校3年
岡崎 優太郎	高知中学校1年	石田 ひなの	春野高校3年
川上 あかり	附属中学校2年		

■大人審査員（こども審査員サポーター）

審査委員長	卯月 盛夫	早稲田大学 顧問
審査副委員長	野村 美尋	谷本物流（株）取締役
	北山 めぐみ	高知工業高等専門学校ソーシャルデザイン工学科准教授
	尾崎 昭仁	特定非営利活動法人 NPO 高知市民会議事務局長
	森岡 千晴	高知県青年団協議会 監事
	永野 隆史	高知市 教育長
	中城 純一	高知市 市民協働部長

■サポート役

こども審査員サポーター	岩村 綾	高知市教育委員会 学校教育課 指導主事
こどもファンドアドバイザー	畠中 洋行	高知大学こうちこどもファンドアドバイザーサークル

※ 役職・学年等は、令和7年3月31日時点のものです。

3 公開審査会

- 日時：令和6年6月16日（日）13時～16時30分
- 場所：高知大学 共通教育2号館 210番教室

当日スケジュール	
13:00	開会
13:10～	公開プレゼンテーション 応募団体が3分以内で発表します。その後、審査員と応募団体との間で、5分以内で質疑応答（審査員からの質問に応募団体が回答）を行います。5団体発表後、5分間の休憩を挟み、残りの4団体の発表が行われます。
14:45～	休憩 休憩時間の間に、こども審査員が一次審査を行います。
14:55～	審査員による公開協議 こども審査員の一次判断の結果をもとに、審査員が公開で話し合いを行います。そのなかで、審査員からもう少し質問があるというグループに対して、再度質疑応答を行い、最終判断となります。
15:45～	休憩 休憩時間の間に、こども審査員が最終判断を行います。
15:55～	審査結果発表
16:05～	こども審査員からの感想発表
16:15～	審査委員長からの講評
16:30	閉会

(1) 審査の流れ

- ① 応募団体は、助成申請した活動内容を3分以内でプレゼンテーションします。
- ② 各団体のプレゼンテーションが終了するごとに、審査員との質疑応答の時間を5分間設けます。
- ③ プrezentationと質疑応答の結果を踏まえ、こども審査員が各団体の事業について「いいね！」、「もう少し質問がある」、「もうちょっと！」のいずれの項目に該当するか、一次判断を行います。
- ④ 一次判断の結果をもとに、こども審査員と大人審査員（こども審査員サポーター）が公開で助成するか、しないかについての審議を行います。特に「もう少し質問がある」、「もうちょっと！」にシールが貼られている団体に対して、審査員から再度、質疑応答を行います。
- ⑤ 公開での審議後、こども審査員が助成するか、しないかについての最終判断を行い、こども審査員の過半数が助成すると判断した場合に助成が決定します。

(2) 審査結果

登録 No.	団体名	一次判断			最終判断									
		いいね！	もう少し質問 がある	もうちょ と！	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	Mteens	◎	◎	◎	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2	高知清掃隊	◎	◎	◎	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
3	Neo Voting	◎	◎	◎	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
4	ゑん	◎	◎	◎	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
5	Team Petrio	◎	◎	◎	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
6	旭っ子記者クラブ	◎	◎	◎	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7	Lien	◎	◎	◎	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
8	結 (Ribbon)	◎	◎	◎	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
9	久重naturalチーム	◎	◎	◎	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

申請団体9団体の全てに助成決定されました。

助成団体	助成金額(円)	得票数	助成合否
Mteens	168,500	10/10	採択
高知清掃隊	200,000	9/10	採択
Neo Voting	175,300	7/10	採択
ゑん	200,000	7/10	採択
Team Petrio	140,000	7/10	採択
旭っ子記者クラブ	200,000	8/10	採択
結 (Ribbon)	200,000	8/10	採択
Lien	200,000	6/10	採択
久重naturalチーム	200,000	9/10	採択

※ なお、公開審査会の内容の詳細は、令和6年10月発行の「こうちこどもファンド 令和6年度審査会報告書」に掲載しております。



4 助成団体の活動

- 助成活動期間：令和6年7月1日～令和7年2月28日

審査会において助成決定された9団体は、それぞれ次のような活動を行いました。

No.	グループ名	活動テーマ	活動内容	メンバー構成
1	Mteens	マンネリ化からの脱却！【高校生中心】の防災	○窓ガラス飛散防止フィルムの啓発活動としてフィルム貼り付け体験や啓発動画をSNS等で発信していく。また、丸の内高校内の備蓄品の確認や保管場所を見取り図にしていき、高校生中心の防災活動を広めていきたい。	丸の内高校生徒合計8人
2	高知清掃隊	地域×清掃【2】	○毎月2回の定期清掃に加えて地域のお祭り等に参加して清掃活動を行いたい。また、こうち環境フェア2024を開催していくことでより地域や他団体の方々と関われる機会を作っていくたい。	高知工業高校・追手前高校・高知商業高校 生徒合計3人
3	Neo Voting	肥やせ君の知識、増やせ意味ある一票	○学生・家族連れを対象にした模擬投票イベントや新聞づくりを行い、若者の政治に対する興味・関心を高め、高知をよりよくしてくれる人が誰なのかを自分自身で判断するような意味のある投票を増やしていく。	高知国際高校生徒合計6人
4	ゑん	日本の伝統文化を国内外に広めたい	○和紙などの伝統工芸品を用いたアクセサリーを作成する体験型ワークショップを開催することやけん玉やお手玉などの日本の遊びや漢字などといった日本の文化に触れる機会をつくり、日本の伝統文化を国内外で身近に感じてもらいたい。	高知国際高校生徒合計7人
5	Team Petrio	動物と人間の真ん中に	○動物愛護活動として、小学校での出前講座や地域猫活動や啓発活動としてイベントへの出展や譲渡会へのお手伝いを行う。また、犬や猫に関わる相談受付を検討しており、どこに相談すればいいか分からない相談を他の団体につなげていきたい。	高知国際高校生徒合計11名
6	旭っ子記者クラブ	オモロい旭を作る	○旭地域を取材してブログやSNS、チラシで広報活動をします。また、本年度は旭を観光地としてプロデュースし、「ミスティーツアー」を開催したい。	高知中央高校・旭中学校・附属中学校・旭小学校・横内小学校生徒合計12名
7	結(Ribbon)	わくわくする体験を通してあなたと高知を結びます！『Ribbonプロジェクト』	○高知市内の田舎寿司づくり体験や他団体とのコラボツアーを企画して、高知の魅力を知ってもらい、高知に残る若者を増やしたい。	高知国際高校生合計7人
8	Lien	異文化交流を通してお互いを理解する	○小学4年生～大人を対象とした日本や外国のスポーツやゲームを取り入れたスポーツ大会を実施し、地域の人と外国人が交流し、異文化理解へつなげていく。	高知国際高校生徒他合計12人
9	久重naturalチーム	久重の里山の魅力 再発見プロジェクト！ ③～SDGsで持続可能なまちづくり～	○星空観察会、川の学習や災害時の簡易トイレの使い方の紹介に加えて、昔通っていた道を復活させる取り組みを行い地域の方とより交流を深めていきたい。	丸の内高校・高知国際高校・追手前高校・愛宕中学校・土佐塾高校・久重小学校・一ツ橋小学校・土佐山学舎生徒合計28人

こうちこどもファンド

5 活動発表会

- 日時：令和7年3月20日（木・祝）13時～17時30分
- 場所：総合あんしんセンター 3階 大会議室

13:00 開会

13:10～ 助成団体による活動成果発表 開始（9団体発表）

各団体3分以内で活動成果を発表します。

各団体発表後は、審査員との質問や意見交換を5分以内で行います。

14:50～ 交流タイム（投票・休憩時間含む）

団体間同士の自由な交流時間です。

発表内容を聞いて書いた付箋を各団体の模造紙に貼ります。

15:25～ 特別発表（まちづくりファンド助成団体「Différent」）

15:35～ 団体表彰

受賞団体に対し、表彰状・表彰楯を授与します。

15:45～ こども審査員感想発表

15:50～ 審査委員長からの講評



6 事業成果報告

(1) 活動発表会について

令和7年3月20日（木・祝）に助成団体活動発表会を開催しました。助成団体である9団体が自分たちの取り組んだ活動について、1グループ5分以内で発表を行いました。

助成が決定してから8か月間、学業やクラブ活動など、多忙なスケジュールを調整し、自分たちの住む「まち」をより良くしていきたいという思いで、活動してきた子どもたちの発表は頼もしく、大きく成長した姿を見ることができました。



NO	グループ名	活動テーマ	助成金 確定額 (円)	ページ
1	結 (Ribbon)	わくわくする体験を通してあなたと高知を結びます！ 「Ribbon プロジェクト」	89,358	10
2	Team Petrio	動物と人間の真ん中に	59,316	11
3	Mteens	マンネリ化からの脱却！【高校生中心】の防災	90,333	14
4	Neo Voting	肥やせ君の知識、増やせ意味ある一票	78,737	16
5	久重 natural チーム	久重の里山の魅力 再発見プロジェクト！③～SDGs で持続可能なまちづくり～	199,896	18
6	旭っ子記者クラブ	オモロい旭を作る	131,409	23
7	ゑん	日本の伝統文化を国内外に広めたい	93,489	24
8	Lien	異文化交流を通してお互いを理解する	134,168	27
9	高知清掃隊	地域×清掃【2】	135,266	29



(2) 発表資料・事業内容報告

No.1 結 (Ribbon)

○ 発表資料兼事業内容報告



高知県の文化



結(Ribbon)

人との繋がり



結(Ribbon)の活動を通して

人との繋がり 協働スキルや創造的思考スキル

自分たちが活動するためには、サポートしてくれる方々の助けが必要であり、人との繋がりが大切であることを学ぶことができました。また、参加者が楽しんでくれるような企画を考えることで、協働スキルや創造的思考スキルを身に付けることができました。

また、参加者の事後アンケートでは「高知のことが知れてよかったです」、「もっと高知のことを知りたいと思えた」と答えてくれた人が多く、高知の郷土料理である「田舎寿司」をみんなで作って食べることや、高知県クイズを通して、子どもたちが地元の文化を繋ぎたいと思ってくれるような活動になったと思います。

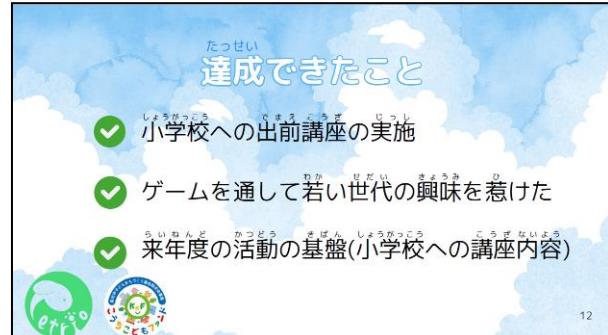
反省点としては、審査会前に予定していた他団体とのコラボ活動ができなかったこと、活動目標の一つであった英語への関心を深める取組までたどり着くことが出来なかったことです。

私たちの活動報告をすることで、同じ意思を持ってくれる後輩たちに引き継いでもらえればと思うとともに、達成できなかった英語に関する取組も計画して続けていってもらえればと思います。

No.2 Team Petrio

○ 発表資料兼事業内容報告





わたしたちは今年で活動3年目になりますが、やはり地域の人と関わること、また動物のことを考えて発信していくことが好きです。うちこどもファンの活動の根底には、地域の人と関わることがあるため、どんなジャンルの活動であっても外に発信することが大事になります。そのときに、地域に貢献したいという思いや、地域の人と話すことが好きだという思いが活動の原動力になり、わたしたちはこの思いが強いからこそ、3年も活動を継続できたのだと思います。

この活動を通じてまちが良くなつたと思う点は、動物と人間の共生に対する意識が大きく高まつたこと。特に、子どもたちの楽しみながら学ぶという環境を作ることができ、地域全体で動物愛護に対する関心が深まつたと感じました。そうして、イベントを通じて地域の人々が一緒に集まり、互いに学び合い、協力する姿勢が生まれました。

このような活動は地域のコミュニティ形成や住民同士の絆を深めることに繋がると考えます。わたしたちの活動によって、動物に対する思いやりや責任感が地域全体に広がり、より良い社会の構築に携われたのではないかと思います。

今回で、わたしたちの活動は3年目を迎え Team Petrio として活動できるのは最後になりますが、今後出前講座を自分たちで続けていくことはできるので、今年度依頼をしていた学校にももう一度依頼してみたいと考えています。

Team Petrio 2025ねん かつどうほうこく



かつ
どう
もく
ひ
ょう

まな

はつしん

学んだことを 発信 する



【1年目 調査・2年目 計画・3年目 自主活動(学校への出前講座、地域猫活動など)】
3年目の今年は、地域の人々ともっと密着して直接的に活動することを目指しました。
しかし、2年目の広報活動を通じて感じたのは、まだ私たちの活動が十分に地域に広がっていないということでした。そのため、密着活動を予定していたものの、広報活動を引き続き強化することがより重要だと判断しました。

▶ ほおっちょけんイベント

ちいさいにんしゃかい
by 地域推進社会

「あにまるクエスト」という自作のゲームを実施した。対象は小学生で、楽しそうにプレイしていることはもちろん、しっかりと内容が理解を理解してくれていたことから、小学生の学習は「ゲーム」という手法もあるんだな、と実感した。このイベントで反省点も得られたのでゲームを改善し、出前講座に向けてより良い企画になるよう励むことができた。

かがみがわりよくちこうえん

さんか

▶ 鏡川緑地公園イベントへの参加

「あにまるクエスト」という、メンバーが作成したゲームを体験や他にはポスター配布や冊子の配布も行った。イベントに参加していた小学生や地元の方にもプレイしてもらうことができ、特に小学生以下の方には保護者の方と一緒に体験してもらえたので、大人にも広報することができ、知識を広める良い機会となったと思う。

やまだしょうがっこ

てまえこうざ

▶ 山田小学校へ出前講座

山田小学校は香美市にある学校だが、その小学校出身のメンバーがいたり、先生とのご縁がありなどの理由から、実施する運びとなった。積極的に活動に参加してくれて、とても有意義な講座にすることができた。私たち自身も、小学生の柔軟な意見にとても関心し、楽しかったです！また、先生からも生徒が本当に楽しそうに学んでいたとの声をいただいた。

まとめ



詳しくは、報告書をご覧ください

目標は3つの学校に出前講座に行こうと思っていたが、予定を合わせるのが難しく、1校だけでの開催だったのが反省点。今回で私たちの活動は3年目を迎えるが、子どもファンド認定団体として助成を受けながら活動することが最後となるが、今後出前講座を自分たちで続けていくことはできるので、今年度依頼をしていた学校にもう一度依頼をしてみたいと思っている。

No3. Mteens

○ 発表資料兼事業内容報告

<p>R6年度 成果報告</p> <p>Mteens</p>	<p>7/13 校内貼付け体験①</p> <p>FUTAGAMIさんからフィルムの効果や貼り方の講義を受け、実際に体験をしました。丸の内高校の生徒も参加し、数多くの感想を頂きました。</p> 
<p>7-9月 動画作成</p>  <p>FUTAGAMIさんの協力のもと、飛散防止フィルムの効果をわかりやすく知ってもらうべく動画を作りました。完成した動画は、丸の内高校のHPで見ることができます。</p>	<p>動画のQRコード</p> 
<p>10/13 イベント参加</p>  <p>Differentさんが主催のイベントに参加し、制作した動画を流した後に実際に体験させました。これで、来場者の方々にフィルムの効果や貼り方を知って頂くことが出来た。</p>	<p>11/3 六泉寺町の貼付け</p>  <p>六泉寺町の町民会館でフィルムの貼り方を体験してもらいました。この活動で、減災の意識を地域に広めることができ、地域の方々が積極的に取り組んでくださいりのある経験になりました。</p>
<p>11/3 六泉寺町の貼付け</p>   <p></p>	<p>12/14 校内貼付け体験②</p>  <p>今回もFUTAGAMIさんの講義を受けて、南舎の3~4階の教室にフィルムを貼りました。フィルムを何度も貼ると、手際がどんどん良くなりました。</p>
<p>1月 校内マップ制作</p>  <p>備蓄品のマップを作り、一目でどこに何があるか分かるようにしました。これで、災害時にスムーズに備蓄品の運搬が出来るようになった。</p>	<p>活動の反省・感想</p> <p>去年の反省であったイベントの告知の周知を改善するためポスターを作成し配布したがタイミングが少し遅く多めの人数を集めるまでには至らなかった。</p> <p>高校生に減災の知識を広めるだけでなく地域や他校のイベントに参加させていただけたおかげで大人の方たちにも広めることができた。</p> <p>大人や周りの人達に多くの手助けを頂き活動ができたが、子どもたちが主体となってもう少しイベントなどの活動を行うべきだった。</p>

Mteens 成果報告 高知丸の内高等学校

今年度も「減災」をテーマに、窓ガラス飛散防止フィルム普及活動を行いました。また、もっと広く飛散防止フィルムの効果を知ってもらいたいと考え、動画を作成し高知丸の内高校のホームページに掲載させていただきました！同時に、校内の備蓄品マップ図を作成し掲示をしました。



校内窓ガラス飛散防止フィルム貼付け体験①

(株)FUTAGAMIさんから、飛散防止フィルムについて講義を受けた後、実際に貼り付け体験を行いました。丸の内高校の生徒にも参加してもらいましたが、体験後「初めてだが思ったより簡単に上手く貼れた」等の感想を頂きました。



校内窓ガラス飛散防止フィルム貼付け体験②

2回目は11人の参加者がいました。(株)FUTAGAMIさんにお越し頂いて講義を受けた後、丸の内高校の中舎3階と4階の教室の窓ガラスにフィルムを貼りました。参加者は最初、フィルムを貼った後の空気を抜く作業に苦戦していましたが、回数を重ねることで、どんどん手際よくなっていました。



ガラス飛散防止フィルム貼り付け効果の動画制作

(株)FUTAGAMIさんの協力のもと、飛散防止フィルムの効果をわかりやすく知ってもらうべく、動画を作りました。こちらから、ご覧いただけます。↓



Différentさんのイベントへの参加

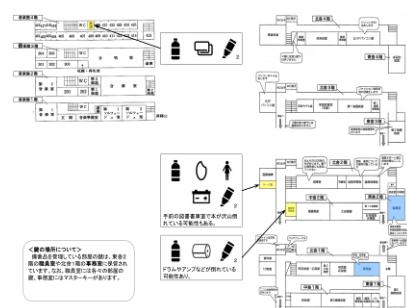
高知国際高校のDifférentさんのイベント「こくさい ぼうさい いらっしゃーい」に参加しました。16組程度お越しになられた来場者に、飛散防止フィルムの効果についての動画を見て頂いた後、貼り付け体験をしていただきました。飛散防止フィルムの効果や貼り付け方法を知っていただくことができました。



六泉寺町の町民会館でのフィルム貼り

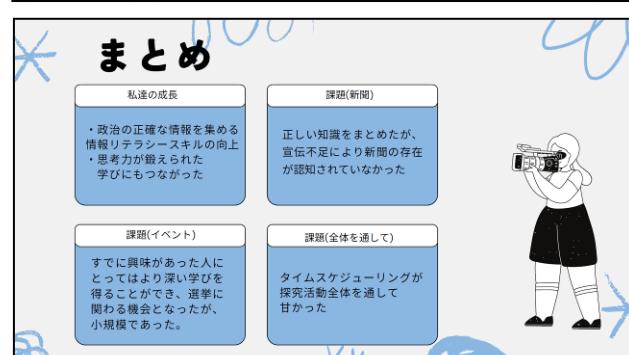
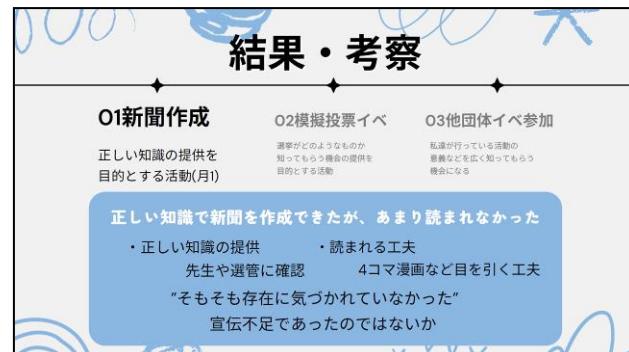
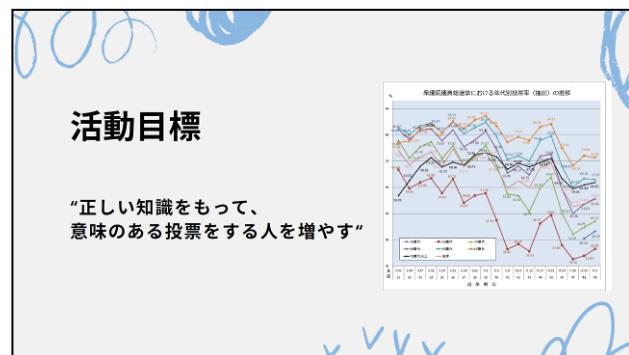
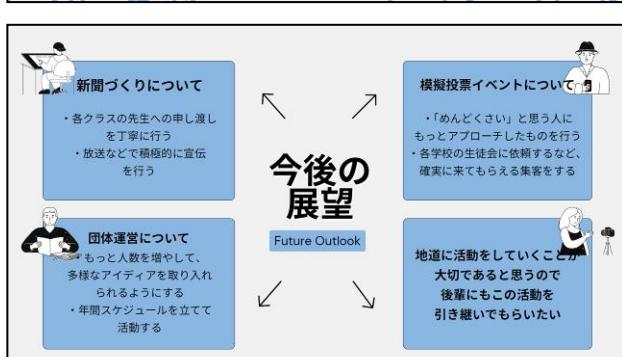
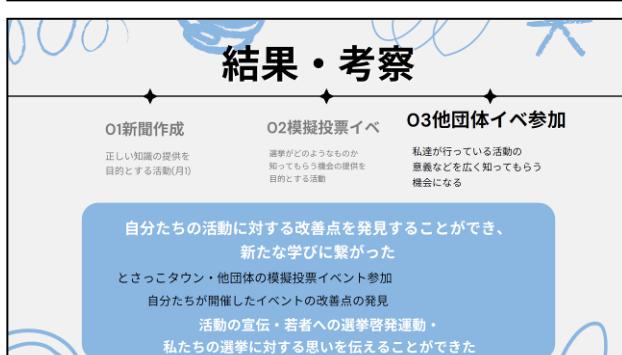
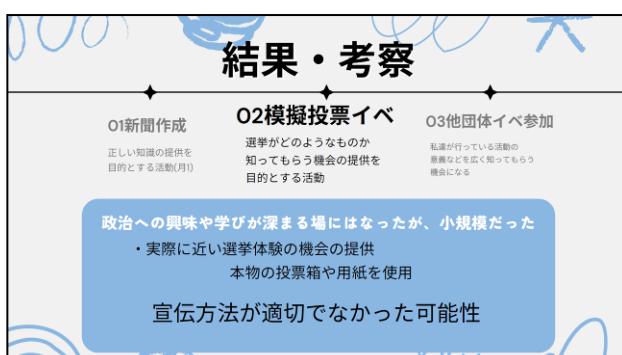
減災の意識を地域の中で広めていただくことを目的に、地域の方にフィルムの貼り付けを体験してもらいました。地域の方が大変積極的に取り組んでくださいり、とてもやりがいのある経験になりました。

校内の災害に備えた備蓄品の所在地や個数を調べ、マップを作成しました。実際に災害が発生した後、高知丸の内高校に避難してきた方への物資提供をスムーズに行なうことが目的です。マップの作成後、昇降口や廊下の掲示板、来校者入口に貼りだしました。



No.4 Neo Voting

○ 発表資料兼事業内容報告



Neo Voting

自ら未来を選択する！政治に興味を持とう！

1. Neo Voting

- ・国際高校2年6人で運営
- ・県の選挙管理委員会、明るい選挙推進委員会と協力

3. 主な活動内容

- ①毎月各クラスに新聞掲載(KKPNEWS)
- ②模擬投票イベントの開催
- ③その他(他団体イベ参加)

2. 活動目標

正しい知識を持って意味のある投票をする人を増やす

4. 計画とのギャップ

- ①2ヶ月に1回の更新頻度になった
→タイムスケジューリングが甘かった
- ②想定以上に集客できなかった
→文化祭では全校生徒の約一割、冬に開催したものでは想定の半分以下

5. 活動の様子



8月17日「とさっこたうん」に参加



文化祭にてミニ模擬投票イベント開催



各クラスに新聞を掲載



オーテピアで模擬投票イベント開催

6.まとめ

この活動を通して成長したと考えることは2つある。

まず、新聞づくりにおいて、政治に関する知識を集めることで知識が増えるだけでなく、正確な調査のための情報リテラシースキルがより向上したと考えられる。2つ目に、団体として活動するための運営方法である。新規の団体として立ち上げ、メンバーがだれも知識がない中試行錯誤で協力しあわなければならなかったことで、タイムスケジュールの管理不足やハブニングが起きやすかった。しかし、その分、個人としてではなく団体として臨機応変に対応していく経験を積むことができ、メンバーそれぞれの成長につながった。今年はイベントの規模も小さかった事があり、周りの人に与えることができた影響というものが小さく、自分たちの成長にとどまったように思われるため、来年度以降はもっと規模を大きくしていけるように活動を継続していきたい。

今回の活動で特に印象に残ったことが二つあります。一つ目は、イベントの集客の難しさです。内容に自信があっても、実際に人を集めるのは想像以上に大変で、ポスターやSNS、声かけなど様々な方法を試しましたが期待した反応は得られませんでした。ターゲットに合わせた宣伝やキャッチコピーの工夫、参加のハードルを下げる（時間帯や場所の工夫、友人と参加しやすい雰囲気づくり）などが重要だと学びました。政治をテーマにしたことで参加をためらう人が多かったことや、参加自体を面倒に感じる人への対策が不十分だったことも集客が伸びなかった原因だと感じています。

二つ目は、イベントを通して多様な考え方方に触れられたことです。他校の参加者もあり、同じテーマでも異なる視点や意見があり、新鮮で刺激的でした。意見が異なっても対立せずに理解を深めえたことや、議論を通して自分の考えを整理できたこと、新しい発見があったことが良い経験になりました。

今後は、企画だけでなく集客方法にも工夫を凝らし、活動の幅を広げていきたいと考えています。

No.5 久重 natural チーム

○ 発表資料兼事業内容報告









久重 natural チームは、今年度の活動をもって、こうちこどもファンドへの参加を終了します。これからも変わらず久重 natural チーム・久重 youth として、久重をよりよくするまちづくりの活動を地域で続けていきます。長年代表を務めてきた高校生からバトンを受けた次の世代が成長し、活動のたびに前に出て説明をしたりみんなをまとめたりすることが上手になったと感じました。私たちの里山の活動をどんどん未来につなげていき魅力ある久重地域がこの先もずっと残っていけばいいなと思います。この7年間でいただいたご縁を大切にし、心に残る野草の調理や、星空観察など里山で楽しみながら、久重の良さを学んできたことを、保全・発信し盛り上げていきたいです。

これまでこうちこどもファンド事業に参加させていただいたおかげで、たくさんの方と出会い久重の魅力を知ることができました。また、助成金をいただき活動でき、寄附をしてくださった方々の応援に感謝でいっぱいです。7年間本当にありがとうございました！

久重naturalチーム 2024年度の取り組み

The image is a vertical poster for a project. At the top, the text '久重の里山 パンフレット・6 2024年度' is displayed. Below this, the title '久重の里山の魅力' is written in large, stylized characters. Underneath the title, the text 'さひはっけん' and '再発見プロジェクト! ③' is shown. The next section features the text 'エコチャーネ' and '～SDGsで' followed by 'じぞくかのう' and '持続可能なまちづくり～'. A large group photo of approximately 20 people, mostly children and young adults, is centered in the lower half of the poster. To the right of the photo is a circular logo for the United Nations Sustainable Development Goals (SDGs). At the bottom, the text '久重 natural チーム' is written in large, stylized characters, with a small floral illustration to its right.

久重地域(久礼・早重・重食地区)は高知市の市街地から北山に車で約15分の中山間にあります。ここは、澄んだ空気で無数の星が輝き、ホタルの生息や、有用植物の宝庫、人々生き物が共存する里山です。

久重 natural チームは、久重地域に関わる小中高生で、2018年度に結成。「地域を元気にしたい!」「久重の魅力を地域内外に発信したい!」と久重地域をフィールドに里山体験をしてきました。2021年度、独自のチーム「SDGsで何?」を作成し、久重地域でできる身近な里山の環境保全も取り組んできました。2022年度、まちづくり計画策定に参画。2023年4月度ごとも、わがわがの命の命久重 youth! 共創。ごとも、わがわがの視線も入れられたまちづくりをみんなで実践しています。2024年度の活動報告として久重の里山の魅力をみんなにお届けします。

久重 natural チーム
インスタグラム

令和6年度あさひのまちづくりひばり活動実績要約

令和6年度あさひのまちづくりひばり活動実績要約

「久自由の未来に向け全国各地で活動する久重地域のまちづくり活動に取り組んでいる地域団体団体に対して台賀財團賞 あしたの日本大賞の受賞者として、令和6年度あさひのまちづくり活動実績」に「撮影奨励賞」を受賞しました。「久重のまちづくり計画」策定会への貢献を契機で「久重youth!」を創造、主導的にまちづくりに参加し、新たな挑戦を実現していることが高く評価されました。

*ご協力いただいた方々

細木公子さん
(土木植物研究会)
布衣植物観察

津崎貴典さん
布衣植物観察

鈴木高志さん
(熊本大学教員)
野草研究
ハーブ石作り

河井アービアンさん
野草に良い
土作り
野草作り

杉本一幸さん
土作り
火事にし体験

杉本千穂さん
(土木研究会)
土作り
ごはん作り

土居園人さん
(久重 youth)
ひだまりの丘
掲示板作り

～久重地域で意識して私たちが取り組んでいるSDGs～

■参考文献…ユニセフ(<https://www.unicef.or.jp>) 2023年閲覧

こうちこもファンド

本資料は高知市子どもまちづくり基金助成事業を受けて作成しました。

- 7年間の里山体験を通して久重地域の魅力をたくさん発見することができた。

- 地域の方とのつながりができる人の魅力にふれることができた。

●地域の子どもたちの縦のつながりができた。

- 久重 natural チームが発信するたびに、地域の方が喜んでくれ、地域を元気することができた。

●久重の里山の魅力を地域内外に発信した。

●今後は地域の活性化につなげていきたい。

●まちづくりに関わるわかもの団体「久重 youth」が発足した。

●これからも大人といっしょに考え方づくりを実践し、地域を元気

ん、よろしくを実現し、地図をルートにしていく。

No.6 旭っ子記者クラブ

○ 発表資料兼事業内容報告



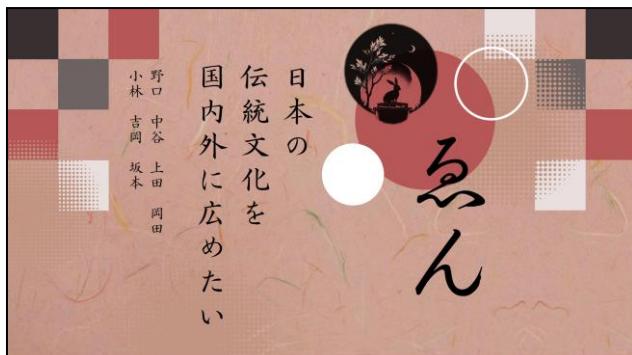
以前は、あまり行かなかった場所を取材して、行動範囲が広がりました。子ども食堂は、いろんな人と知り合うことができます。違う学校の子やボランティアのおじさんおばさんお兄さんお姉さんと仲良くなれます。取材に行くと同級生のお兄ちゃんがいたこともあります。本宮川にビンが捨てられていたことがあります。地域の人がすぐに教えてくれて、拾いに行きました。水無し川になった時も教えてもらって、魚を助けに行きます。地域のことは、地域の人から教えてもらいます。知ることで、できることがあります。自分たちで、町をきれいにしたり、安全にしたり、オモロくしたりできるようになったことが、よかったです。

これからも、町の取材を続けます。「旭ポスター」のような、町の情報を発信して、町の人に喜んでもらえる活動もしたいです。ハロウィン旭は、町をきれいにするお祭りとして続けたいです。「夢ひろい」や「旭ツアーア」は、いつでもだれでも気軽に参加できるように、工夫してやってみたいです。あと、お祭りやイベントに参加して、地域の人と関わりを持ちます。お祭りでは、自分たちが作った物（レインボースティック、イライラ棒）を売りました。そのお金で、取材に行っておいしいものを食べるのが、楽しかったので、これも続けたいです。

取材やイベント参加で知り合いが増えて、外遊びが前よりもっと楽しくなりました。地域のことを教えてもらったり、イベントに誘ってもらったりするのがうれしいです。そういうつながりを大事に、これからも自分たちにできることをもっと見つけていきます。

No.7 恋ん

○ 発表資料兼事業内容報告



活動内容		
計画（予定）	日時	内容
	4/22	恋ん活動開始
	4/28	高知こどもファンドアドバイザーとの面談
	6/16	地域社会推進部の方とミーティング
	7/3	本校に小学校への連絡許可願
	7/8~13	小学校へ連絡、チラシ配布
	7/17~18	SAメンバー募集の校内放送＆説明会
8月 土佐和紙で 作るランプ シェード開催	7/31	「和紙で作るランプシェード」ワークショップ開催
	8/25	「ほおっちょけんがオーテビアをジャックする!?」ブース出展

活動内容		
計画（予定）	日時	内容
10月 紙漉き体験 イベント	10/7	タスマニアからの短期留学生にチラシを配布
	12/13	留学生＆ALT交流イベント
1月 留学生＆ALT 交流イベント	1/13	「こうち環境フェア」ブース出展
	1/13	「こうち環境フェア」反省会
	2/23~28	観光パンフレット配布
	3/20	報告会





活動成果：どんなまちづくりができたか

伝統文化に地域の方が触れる機会を作れた

インターネットが普及する現代
→伝統工芸品を使ったイベントを開催することで、楽しみながら日本の伝統文化の魅力を発信することができた。

活動を通しての成長

計画や運営方法を学べた
自分たちが主体となり、責任感を持って計画・運営を行うことで、自己管理能力を向上させることができた。

コミュニケーション
子どもや企業、市役所の方々と接する機会を通じて、適切な対応や言葉遣いを学び、コミュニケーション能力を向上させることができた。

計画との違い

- 学業との日程調整が難しく、「土佐和紙の紙漉き体験イベント」は実施できなかったため、観光パンフレットの作成に変更した。
- 活動を通じて、地域共生社会推進部と高知清掃隊主催のイベントでブース出展の機会をいただいたので、両イベントで同様の内容のブース運営を行なった。

色々な人が伝統工芸品に関して様々なアプローチをしている中で、私たちのような学生がワークショップなどを通して、伝統工芸品の魅力を伝える活動に取り組めたことは大きな効果があったと感じています。

ワークショップを開催し、県内外の人を問わず参加していただいたことで、伝統工芸品を知る・触るきっかけを提供できたことはいい機会だったと思います。私たちの提供するコンセプトを知つてもらい、ひとりひとりが伝統工芸品とは何か、その大切さを学ぶことで高知の伝統工芸品（またその産業）の扉を増やすことができたと感じています。

また、現代では触れ合う機会が少なくなってしまった伝統工芸品や玩具について、知識を提供し、楽しさを感じていただくことができました。スマートフォンやゲーム機が普及している世の中で、未来を担う子どもたちに歴史を知つてもらうことは必要だと考えます。なぜなら「温故知新」という言葉があるように、昔のことを知ることで現代の問題に対応できると考えるからです。私たちが伝統文化の魅力を伝える活動は、高知の未来を担う子どもたちにとって何かしらのヒントになったのではないかと推察しています。

今回土佐和紙などの高知県独自の伝統工芸品を使用したイベントを通じ、地元である高知の魅力について学んでもらうことで、子どもたちの担う未来の高知県の活性化に繋がる活動を行うことができました。

次年度は、この活動を通して学んだ知識や経験を活かし、それぞれが日本の伝統文化の魅力を伝えるためにできる活動を行っていきたいと思います。

ゑん 活動成果

～日本の伝統文化を国内外に広めたい～

「和紙で作るランプシェードworkshop」

@高知城歴史博物館、151名来場

県内の小学生を対象に土佐和紙を使ったランプシェード作りのイベントを開催した。3日間で予約が埋まるほどの関心を集めた。イベントでは、まず土佐和紙の歴史や特徴について口頭で説明を行い、その後、子どもたちは夢中になってランプシェード作りに取り組んだ。また、イベント前後に博物館を見学する参加者もあり、高知の伝統文化への関心を深める機会となつた。



短期留学生17名に日本の文化を伝えるポスターを制作し配布

留学生&ALT交流会 @高知国際高校

留学生や外国人の先生と共に、クイズや福笑い、けん玉などを通じて日本文化の魅力を伝えた。高知に来て4ヶ月の留学生は、よさこいを知らなかったが、説明を聞くうちに大変興味を持ってくれた。日本語が堪能な外国人の先生も、「知らなかった日本の文化を多く学べた」と話しており、ゲームを通じて楽しく日本の伝統文化に触れてもらうことができた。

ほおっちょけんがオーテピアをジャックする？！・こうち環境フェア @オーテピア、弥右衛門ふれあいセンター

両イベントで土佐和紙でしおり作り、折り紙で風車作りなどの複数のブースを展開。ワークショップでは合計約90枚のしおりと約170個の風車を作成した。作品が完成したり、けん玉が成功すると子供だけでなく大人も笑顔になり、喜ぶ姿が見られた。身近な日本の遊びの魅力を再発見してもらう機会となつた。



観光パンフレットの設置

設置場所：よさこい交流館、高知観光ナビ・ツーリストセンター、高知観光コンベンション協会、てんこす、めろでい、コマドリ 計6ヶ所180部

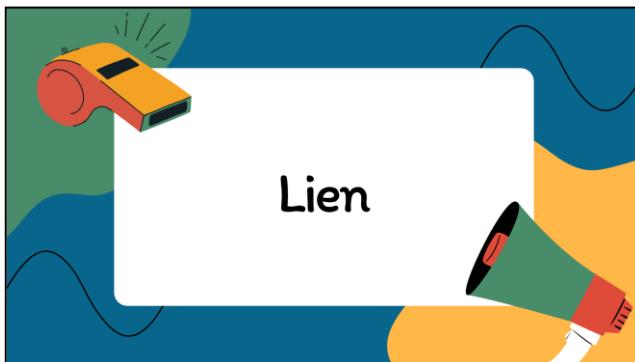
まとめ

様々な活動を通じて、日本の伝統文化の魅力を地域の方々に発信することができた。特にワークショップイベントでは、参加者が楽しみながら日本の伝統工芸品に親しむことができたと感じている。インターネットの普及により、伝統工芸品に触れる機会が減っている現代において、こうしたイベントを開催することで、身近な伝統的な遊びの魅力を再発見してもらうことができた。高校生として行ったこれらの活動に企業や地域の方々から関心を持ってもらい、その結果、地域活性化につながる協力を得ることができた。

活動を進める中で、学業や部活動との両立が難しく、計画通りに進められないこともあつた。今後は定期考査や模試、学校行事を考慮し、早めに準備を始めることを心がけたい。また、活動を通じて参加者への対応や運営方法を学び、それが自分の成長に繋がったと実感している。

No.8 Lien

○ 発表資料兼事業内容報告



目的

①出来る楽しさから分かる喜びを実感する
→自分の力で得た楽しみを自分の苦手への武器にする

②身近な問題から始める国際理解
→自分たちのできるところから世界的な規模に

活動内容

日時：R6.10.12
場所：シリーズ
対象：小4～大人
午前の部、午後の部の2部制で開催
昨年度の活動で外国人とのコミュニケーションの難しさを感じた
→日本人と外国人のコミュニケーションの溝を解決するために、全世界共通であり、協力ができるスポーツ大会を開催！



振り返り

よかったところ



- ・外国人と日本人の壁がなくなった
- ・日本のスポーツを知ってもらえた
- ・新しい友達を作る場になった

反省点と改善

大縄跳びは3分間跳び続ける体力のない人にとって厳しい

日本人同士は日本語で話していた

誰でも気軽に参加できるイベントにしたい

日本語を話したら減点！のようなルールを追加する

アンケート

「どんなイベントに興味がありますか？」

・スポーツ×7	・日本語
・ダンス×2	・日本文化体験
・高校ツアーコース	・茶道体験
・歌	・文学に興味がある人の集まり
・音楽	・バスケットボール
・芸術	・ボードゲーム（お菓子食べながら）

「国際ふれあい広場」

日時：R6.11.17
場所：ひろめ市場
英語で高知城をツアーしたり、茶道などを体験！



今後について

外国人対象のアンケートに
「日本の学校を見てみたい！」 「日本文化を体験したい！」 とあった

学校ツアーで日本文化を体験するイベントを開催したい
日本人が外国人に日本文化を教えるという形

Lien

目的

- ①出来る楽しさから分かる喜びを実感する
→自分の力で得た楽しみを自分の苦手への武器にする
- ②身近な問題から始める国際理解
→自分たちのできるところから世界的な規模に

活動成果

10/12 『英語でスポーツ大会』開催



日時: R6.10.12
場所: セリーズ
対象: 小4~大人



昨年の活動で、外国人とのコミュニケーションの難しさを感じた

日本人と外国人のコミュニケーションの溝を解決するために、全世界共通であり、協力ができるスポーツ大会を小学4年生~大人までを対象に開催!

イベントの流れ

- | | |
|----------------------------|---------|
| 1 開会式 | 4 大縄跳び |
| 2 ミュート自己紹介 | 5 ドッヂビー |
| 3 bomb explosion shiritori | 6 ピニャータ |
| | 7 閉会式 |

「国際ふれあい広場」

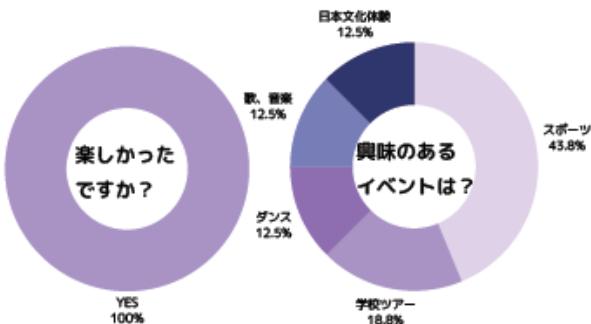
龍馬学園さんからお声がけいただき、参加させていただきました！

英語で高知城をツアーしたり、茶道などを体験！

高知に住んでいても知らなかったこともあり、高知県により詳しくなれました。また、英語を使って外国人の方と交流し、外国の文化や言語についての知識をつけることができました。

振り返り

イベントに参加した方へのアンケート



参加してくれた方々が楽しめるイベントを開くことができて、よかったです。イベントでは、外国人も日本人も分け隔てなく、協力し、優勝を目指していました。また、休み時間には初めて会った方達と交流している姿も見られ、国際理解が深まっていると感じた。

来年度の展望

①スポーツ大会は年齢的に、身体的に、厳しい競技もあった。特に、大縄跳びは数分間跳び続けないといけないため、大変だったという意見があった。

どの年代層でも気軽に参加できるイベントにしたい

②イベント参加者へのアンケートを収集したところ、外国人から日本文化を体験したい、学校を見学してみたいといった要望があった。

学校ツアーで日本文化を体験するイベントを開催したい
日本人が日本文化を教える側になり、外国人に日本文化を伝え、国際理解を深める

活動の様子



外国人とのコミュニケーションは難しいという印象がありましたが、ジェスチャーや実演を取り入れることで、伝わりやすくなりました。私たちの目的は「異文化交流を通してお互いを理解する」ことでしたが、日本人同士や外国人同士で仲良くなる場面もあり、大変良かったと思います。

イベント中はスポーツの最中も休憩時間も、日本人と外国人が積極的にコミュニケーションを取つており、お互いのコミュニケーションのハードルが下がったと感じます。また、初めて会った外国人同士が仲良くなり、新しい友達を作ることができたのも良かった点です。

今後の Lien については、今年寄せられた要望に応えていきたいと考えています。スポーツイベント後のアンケートで「どのようなイベントに興味がありますか?」と尋ねたところ、スポーツ、ダンス、学校ツアーナどの要望が挙がりました。こうした要望に応えられるイベントを計画していきます。

反省点としては、スポーツは身体的に参加できない方や年代による体力差があり、難しい面もあると感じました。そこで今後は、すべての年代が気軽に参加できるようなイベント作りを目指していきます。

No.9 高知清掃隊

○ 発表資料兼事業内容報告



目次

01 今年度の活動紹介

02 成果・課題

03 その他の取り組み・メディア掲載

04 今後の方針



こうち環境フェア



来場325名 / 出展42名 / スタッフ16名



参加型定期清掃活動



行ったこと

- ・活動時間を固定化した。 →認知度UPへ
- ・ボランティア証明発行 → 参加しやすい
- ・用具は全てこちらで準備 環境づくり
- ・ごみ種別調査を実施 →新しい指標

こうち環境フェア



結果

- ・環境知識の向上
- ・環境団体を知ってもらう
- ・学生によるまちづくり活動を知ってもらう



こうち環境フェア



こうちこどもファンド



ゑん
久重naturalチーム
久重youth

ナツボラ2024



ボランティア参加者数216名



ナツボラ2024



結果

- ・よさこい・花火大会・鏡川での清掃活動を開催し7日間にわたって清掃した。

回収したごみは**軽トラ1台分**



高知ユナイテッドSC ホーム戦



ボランティア41名参加



高知ユナイテッドSC ホーム戦



9/15 FCティアモ枚方 戰
↓
10/6 栃木シティ 戰
↓
11/10 ソニー仙台FC 戰
↓
11/24 クリアソン新宿 戰



高知ユナイテッドSC ホーム戦



結果

- ・中高生の環境活動に参加する機会ができた
- ・高知Uと **SDGsスタジアム** を促進することができた



イベント清掃事業




第21回 鏡川緑地公園イベントin紅葉橋

 イベント清掃事業

結果

- ・イベント(1万人規模)でのごみの排出量・種類を調査ができ、2日間で約 220kg 回収した。

02 成果・課題

成果・課題

活動テーマ (1) 地域×清掃＝未来

- ・参加型清掃では当該地域の学校にも声をかけた。
- ・一部活動ではリピーターも増えた。

活動テーマ (2) 中高生の環境活動の促進

- ・ボランティア募集を中高生へ向けて重点的に行なった。
- ・活動時間、用具提供など参加しやすい環境づくり。
- ・ボランティア証明書を発行し、参加する機会をつくる。

成果・課題

課題1 環境企画の趣旨をより深める。

環境企画の「なぜ行う」「誰に向けて」を深める
→人が集まるだけでは、環境について学べるが
地域交流はできない。(地域×清掃の部分)

課題2 メンバー不足

ホームページを利用し、運営メンバー募集を
継続して行っていく。
高知大学の団体と協力していく。

03 その他の取り組み メディア掲載

活動を イッキ見！

その他の取り組み・メディア掲載

 ごみ種別調査
定期清掃・イベント清掃で回収したごみの種類・数量を記録する

 とさっ子タウン
とさっ子タウン内「清掃局」で、市民とまちの清掃や
ポスターを作成。

その他の取り組み・メディア掲載

 物部川清掃 (株)フタガミ
株式会社フタガミ様の
ラブリバー物部川パートナーシップの清掃活動に参加。

 香北中学校生徒(探求学習)
総合的な探求の学習の単元で、
高知清掃隊の活動を取り上げていただきました。

その他の取り組み・メディア掲載

 こくさいぼうさいいいらっさ～い
Different主催の防災イベント。
防災かるたや海ごみの展示を実施
(今回で3度目の協力)

 ボランティアガイダンス
ボランティアガイダンス2024にて
清掃隊のボランティアや
高知Uの清掃ボランティアを募集

その他の取り組み・メディア掲載

 こうちSDGsフォーラム
高知県の高校生と企業が環境協議
清掃隊の紹介、他学校の取り組み
SDGsとしてできることを考えた

 高まちづくり部
関連団体「高まちづくり部」
高知で活動する団体を取り材し
Youtubeで発信する。

その他の取り組み・メディア掲載



高知清掃隊

ホームページ

効果

アクセス数
12,971回
('24/7/1~'25/2/3)

Q 高知清掃隊 で検索

その他の取り組み・メディア掲載

ホームページでできること

団体紹介・活動報告
ボランティア募集・イベント情報
イベント特設ページ

Q 高知清掃隊 で検索

その他の取り組み・メディア掲載

メディア掲載歴



高知清掃隊

RKC高知放送 (R6.9.16放送)

その他の取り組み・メディア掲載

メディア掲載歴

'24/8/8…高知新聞ミリカ
8/22.29…エフエム高知
9/14.16…読売新聞
9/16…RKC高知放送
9/17…高知新聞
10/22.29…エフエム高知
'25/1/15…高知新聞
2/9…KUTVテレビ高知 他4件

04 今後の方針

今後の方針

- メンバー募集 (継続)
- 令和7年度 清掃隊 開始
- 高知大学内の団体と協力団体として活動
- SNSを用いたボランティア募集事業



来年度は、進学等によりメンバーの入れ替わりがあるため、新メンバーで体制を整えて活動を進めていきます。メンバー数が不足することも想定されるため、高知大学の清掃団体と協力関係を結び、清掃隊と大学内団体が連携して企画・活動を行っていくことを決定しました。

今後も「中高生の環境活動の促進」や「地域×清掃=未来」をテーマにした取り組みを継続して行っていく予定です。また、高知清掃隊のSNS、メール配信、ホームページなどの独自の広報手段を活用した事業も検討したいと考えています。

高知清掃隊

2024.07～
2025.02

清掃活動、環境企画
様々な活動を行ってきました。

12事業
250時間も！

2024.07.27
こうち環境博2024



ステージで清掃隊について
発表しました。

実はこの時期に
高知清掃隊の
活動紹介パンフレットが
完成してるんです！

2024.07.28
定期清掃活動



鏡川で開催。10人参加
ミリカの取材も。

2024.08.11
よさこい清掃



100人超参加
裏方として活動！

大型企画開催
清掃隊史上
最大規模か？

高知新聞「ミリカ」
8月号に掲載！
発行後には、声ひろばにも
メッセージが！

2024.08.13
朝りバーコ清掃



朝から鏡川を清掃！
学生があおく参加！

1週間にわたる
大規模清掃！
参加者はなんと216名！
部活前に集まって
くれました！

2024.08.17
とさっ子タウン清掃局



とさっ子市民たちと
まちをきれいに！

念願の
コラボが
実現！

2024.09.15
ホーム戦清掃



J3参入を目指す
高知ユナイテッドSCと
コラボ！

2024.11.16
ボランティアガイダンス



ボランティア大募集
活動しませんか？

ボランティア
手も身につく

2024.11.03
鏡川緑地公園イベント



2日間で222kg
ごみを回収

／ 基礎から学びます
大変だったなあ

1万人規模の企画
昨年につづき、今年も
ごみステーションを
担当！

2024.10.13
防災イベント参加



こくさいぼうさい
いらっしゃーい

GOAL

高知清掃隊の活動は完全オリジナル。
ホームページもパンフレットも
すべて自分たちで作成。

活動情報や成果は下のQRから！
(公式ホームページ)



「第2回」
レベルアップ
環境企画

367人に参加して
いただきました。
出店も12団体で、
子どもでも楽しめる
ワークショップも
開催！

／ 明日まで大忙し
アラシは24,000冊を
販売

2025.01.13
こうち環境フェア



水族館や和太鼓演奏
様々な企画が！

(3) 団体表彰

令和6年度活動発表会では、以下の賞を決定し、表彰しました。

○ ベストこどもファン賞

(第13期こども審査員の投票による表彰)



高知清掃隊



【石田審査員から選んだ理由】

地域や人だけでなく、企業との関わりを作っていたことに驚きました。調査をもとに次に目指す場所についても考えることができていて素晴らしいかったです。

○ ベストライバル賞

(令和6年度活動団体から活動団体への投票による表彰)



高知清掃隊



【久重 natural チームから選んだ理由】

プレゼンテーションの内容が細かくて良かったです。また、広報・活動・分析など、活動内容が多岐にわたっていて様々な点が優れていました。他団体との交流も含めて、地域×清掃を体現できていたと思います。

○ 若い力を感じる賞

(大人審査員(こども審査員サポーター)と
こども審査員OB・OGの投票による表彰)



高知清掃隊



三冠達成！

【笹岡さん(助成団体OB)から選んだ理由】

多くの団体や人を巻き込んで多岐にわたる活動をしていて、とてもすごいと思いました！！
広報も多くのメディアを使用し、行っており、見習いたいと思いました。

(4) こども審査員からの感想発表

第13期こども審査員の皆さんを代表して、増田光祥審査員にこども審査員を経験してみての感想や、応募団体のプレゼンを聞いて審査した感想などを発表してもらいました。

活動団体の皆様、1年間お疲れ様でした。

小学校4年生のころから、こども審査員として9年間携わらせていただきました。現在高校3年生ですので、来年度からはOBとして携わらせていただくことになります。

この9年間で感じた4つのポイントを述べさせていただきます。

まず1点目は、活動団体の皆さんのが地域や人々とつながる方法について、9年前に比べると多様化しており、SNSの活用や企画力の向上を感じました。

2点目は、当初の活動内容は、清掃活動や防災に関するものが多くたのですが、近年では、選挙に関する活動や日本や高知の文化の普及、ペットに関する活動など、活動の多様化という部分で非常に楽しく企画を見ることができました。

そして、3点目は、活動が高知市や高知県だけでなく、世界に広がっていっているなど感じており、これからも、もっともっと広がって行ってほしいなと思います。

4点目は、本日のプレゼンテーションを聞いていて、プレゼンテーション力が非常に高くなってきたなど感じました。私たちが質問する機会も多い中、質問を的確にとらえ、求めている回答をいただき、非常に実りのある発表会だったと思っています。

最後になりますが、私を含めて、今年度のこども審査員には高校3年生が3名在籍していましたので、是非、来年度以降、こども審査員をやってみたいという方がいましたら、ご応募いただきたいと思います。



(5) 卯月審査委員長 講評

今日は大変すばらしい発表会でした。子どもたちが、質問する側も、答える側も、発表する側もみんな自分の言葉で、素直な気持ちで話しているのが伝わってきて、とても気持ちが良かったです。これが（こうちこどもファンドの）原点なのではないだろうかと思います。

大人の自分は、立場やお金、政策といった様々ななしがらみがあって、自分の素直な思いを伝える機会が残念ながら少ない気がします。しかしながら、このようなことがないと、もちろん高知も日本も良くなっていかないのではないかと思いました。

まちづくりの手法の中で今日勉強になったのが、Team Petrioさんによる小学校への出前講座についてです。「高校生が小学生に伝えるのが大変難しい」、「小学生の発想を聞いて素晴らしいと思った」という発表内の発言から、高校生でさえ小学生の新しい発想を真剣に受け止めているということがとても新鮮でした。Team Petrioさんの3人のチームワークは補い合いの関係性を体現していました。

3年前は社会的側面に不安がありました。市役所の支援と、色々な団体とのつながりを通じて成長したことが素晴らしいです。まちづくりは地道に輪を広げることだと思うのですが、その中で細かい手法やアイデアが生かせており、私自身も発表から学ぶことができました。

また、もう一つの手法という意味では、Mteens が動画を用いて多くの人に活動を普及でき、実際に今日初めて見てみましたが、短い動画でもとても効果的だということがわかりました。

まちづくりは、最初の思いは1人、2人かもしれない。申請段階でも3人くらいかもしれない。それを1年、2年、3年かけて10人、20人、30人と同じ思いを持った人たちとつながっていけば、ある種の手法が必要になってくるので、今日の段階では2つ紹介しました。

こどもファンドは、お金をきっかけにして自分たちの思っている活動ができ、お金を利用して社会的認知を得ることができるというものです。しかしながら、高知清掃隊の活動から、こどもファンドを通じて知り合った団体との横のつながりができるこの素晴らしいことの重要性を感じました。

久重 natural チームと旭っ子記者クラブは、学校からの申請が多い中でいわゆる地域型の活動です。

興味深いのは、久重 natural チームでは幼稚園、保育園や小学生から高校生までが一齊に並んで一齊に発表してくれます。発表は練習しているからできるのは重々理解できるのですが、こども審査員からの質問にもきちんと答えられています。当たり前かもしれないですが、常にまちづくりのことをやっているからこそ、質問にきちんと答えられるわけですよ。書類審査と公開審査の大きな違いは、その人の顔を見ながら、質問した人への回答をどのようにするかで、真剣度合いや事前準備、目指しているものを確認できます。それを長くやってきた久重地域の活動は素晴らしいと思います。

最後になりますが、今日まちづくりファンドに応募して助成を受けて活動している Différent の発表がありました。こどもファンドと、こどもファンドのもととなったまちづくりファンドの活性化のための交流が必要なのではないかと感じています。その中で、こどもファンドを卒業した後のまちづくりファンドへの応募は予想だにしないことで、素晴らしい発展だと感じています。現在、こどもファンドのOB・OGが、まちづくりファンドの審査員になっていて、素晴らしい関係性ができていると思います。現在、大人の方のまちづくりに子どもの視点を取り入れるような議論が進んでいます。是非、今後のまちづくりファンドの一つの発展形として、まちづくりファンドとの関係性を構築していくことがあるのではないかと思いました。



7 令和6年度高知市子どもまちづくり基金実績

こうちこどもファンドは、平成24年度に創設した「高知市子どもまちづくり基金」を原資に運営をしております。制度を長期に渡り継続していくためには、少しでも多くの企業・団体・個人の皆さま方から、こうちこどもファンド制度の趣旨に対してご賛同をいただき、寄附金という形でご支援をいただくことが必要です。未来のまちづくりを担う子どもたちを社会全体で支援し、その温かい支援や協力を子どもたちが感じながら活動していく中で、子どもたちは「夢の実現」だけではない、たくさんの学びや成長を得ることができます。

令和6年度は、**47件**の企業・団体・個人の方から**1,182,845円**のご寄附をいただきました（募金箱への寄附を含む）。このこうちこどもファンドが安定した運営をしていくように、今後ともご支援をいただければ幸いです。寄附をいただいた皆様のご芳名は、巻末に一覧で掲載していますのでご覧ください。

＼ ゴ寄附いただいた皆さま、ありがとうございました！ ／



8 今後に向けて

「こうちこどもファンド」は、子どもたちの「自分たちのまちを良くしたい」という想いを形にするために、子どもたちが行うまちづくり活動に対して支援することで、子どもにやさしいまちの実現や、高知の将来を支える人材づくりを目指しています。

令和6年度は、9団体へ助成し、様々な分野のまちづくり活動に取り組みました。

13年を迎える本事業は、助成件数は約100件、2,000人以上（活動の重複者を含む）の子どもたちにより、防災、環境活動、地域食材を活かしたレシピづくり、農作業など、様々な活動が行われてきました。子どもたちの活動は、協力する周りの大人たちにもまちづくりに対する意識が芽生えるきっかけとなっており、地域全体に広がっていく様子も見られています。

毎年、たくさんの子どもたちから意欲的なまちづくりの提案があることを嬉しい一方で、これからまちづくり活動を行いたいと考えている子どもたちやサポートする大人がどのように子どもたちの意見を引き出すか、どうすればより応募しやすく、どうすれば活用しやすい制度になるのかを考え、まだまだ改善していく必要があります。

また、このこうちこどもファンドを知らない市民の方がまだまだいます。より皆さんに知ってもらい、一緒になって盛り上げる仲間となってもらえるように広報を工夫する必要があります。

令和6年度は、高知大学でこどもファンドアドバイザーサークルが立ち上がり、子どもたちを支援する体制の拡充と若者主体のまちづくりの推進に取り組みました。これからも子どもたちの声を拾い、掘り起こし、応募につなげていく仕組みを検討していき、本制度を周知していきます。

これまでの成果を踏まえ、これからもこうちこどもファンドがさらに発展していくよう、検討してまいります。

本事業の子どもたち自身が取り組みたい活動を申請し、審査をするのも子どもたちで行うという仕組みは、全国でも先駆的な取組です。子どもたちが高知市のまちづくりに興味を持つきっかけとなり、小さい頃から自分たちが住む地域のことに関心を持ち活動することが、大人になっても地域活動に参加することにつながり、誰もが住みやすいまちづくりへと続いていなければと考えています。

これまでこども審査員を経験された皆さんや、活動された団体の皆さん、こども審査員サポーターの皆さん、ご寄附をいただいた方々など、こどもファンドに関わってくださっている方のご意見をいただきながら、子どもに優しいまち高知市の実現を目指して、まちづくりをさらに発展させていきたいと考えておりますので、今後とも「こうちこどもファンド」のご支援をよろしくお願ひいたします。





資料編

■高知市子どもまちづくり基金条例	40
■高知市子どもまちづくり基金助成金交付要綱	41
■令和6年度活動発表会アンケート結果	43
■寄附者一覧表	50
■「こどもファン通信」第46号（令和6年5月発行）	55
■「こどもファン通信」第47号（令和6年10月発行）	59
■「こどもファン通信」第48号（令和7年2月発行）	63

高知市子どもまちづくり基金条例

(平成 24 年 4 月 1 日条例第 23 号)

(設置)

第1条 子どもたちが主体となって取り組む子どもまちづくり活動を推進することにより、本市の将来を担う人材の育成を図るとともに、本市におけるまちづくり活動を活性化させるため、高知市子どもまちづくり基金（以下「基金」という。）を設置する。

(基金の積立て)

第2条 基金として積み立てる額は、一般会計歳入歳出予算で定める。

2 基金をより効果的に運用するため、基金の設置目的に沿う市民又は法人その他の団体の寄附金は、前項の積立額に充てることができる。

(管理)

第3条 基金に属する現金は、金融機関への預金その他最も確実かつ有利な方法により保管しなければならない。

2 基金に属する現金は、必要に応じ、最も確実かつ有利な有価証券に代えることができる。

(運用益金の処理)

第4条 基金の運用から生ずる収益（以下「運用益金」という。）は、一般会計歳入歳出予算に計上して、基金の設置目的を達成するために行う事業の経費に充てるものとする。

2 前項に定める事業の経費に充当したものを除き、運用益金は、一般会計歳入歳出予算に計上して、基金に積み立てる。

(処分)

第5条 市長は、基金の設置目的を達成するため必要があると認めるときは、一般会計歳入歳出予算の定めるところにより、基金の全部又は一部を処分することができる。

(繰替運用)

第6条 市長は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰戻しの方法、期間及び利率を定めて、基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用することができる。

(委任)

第7条 この条例の施行について必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

高知市子どもまちづくり基金助成金交付要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、高知市子どもまちづくり基金条例（平成24年条例第23号）第1条に規定する基金の設置目的を達成するため、高知市子どもまちづくり基金助成金（以下「助成金」という。）を交付することについて、補助金等の交付に関する条例（昭和29年条例第19号）に定めるものほか、必要な事項を定めるものとする。

(助成対象団体)

第2条 助成金の交付の対象となる団体（以下「助成対象団体」という。）は、次に掲げる要件のすべてを満たす団体とする。

- (1) 本市に在住又は通勤若しくは通学している18歳以下の子どもが3人以上いること。
- (2) 団体の責任者及び監査として、20歳以上の大人が2人以上いること。
- (3) 活動の目的が明らかであり、当該助成に係る事業を自主的に行えるものであること。
- (4) 複数の世帯で構成される団体であること。
- (5) 過去に、同一の事業についてこの要綱に基づく助成金の交付を3回以上受けていないこと。
- (6) 団体の運営に関する規約、会則等を定めており、適切な会計処理が行われていること。

2 前項の規定にかかわらず、助成対象団体が、高知市事業等からの暴力団の排除に関する規則（平成23年規則第28号。以下「規則」という。）第4条各号のいずれかに該当すると認める場合は、助成金の交付の対象としない。

(助成対象事業)

第3条 助成金の交付の対象となる事業（以下「助成対象事業」という。）は、本市内において、子どもが主体となって取り組むまちづくり活動に係る事業とする。

2 前項の規定にかかわらず、次に掲げる活動は助成対象事業としないものとする。

- (1) 営利を目的とする活動
- (2) 宗教的又は政治的な活動
- (3) 学校の授業の一環として行う活動

(助成対象経費)

第4条 助成金の交付の対象となる経費（以下「助成対象経費」という。）は、助成対象団体が行う助成対象事業に要する経費とする。

(助成金額)

第5条 助成金額は、助成対象経費の額を限度として予算の範囲内において、市長が認める額とする。

(助成金の交付申請)

第6条 助成対象団体は、助成金の交付を受けようとするときは、助成金交付申請書（様式第1号）に、必要書類を添えて、市長に申請しなければならない。

(助成金の交付決定)

第7条 市長は、前条の申請があったときは、その内容を審査し、助成金の交付の可否を決定し、適當と認めたときは助成金交付決定通知書（様式第2号）により、適當でないと認めたときは所定の助成金交付却下通知書により当該申請をした助成対象団体に通知するものとする。

2 市長は、助成金の交付決定に際し、必要な条件を付することができる。

(交付申請の取下げ)

第8条 前条第1項の規定により助成金の交付決定を受けた助成対象団体（以下「助成事業者」という。）は、その内容又はこれに付された条件に不服があり、交付申請を取り下げようとするときは、当該交付決定の通知を受けた日から2週間以内に、その旨を所定の助成金交付申請取下届出書により市長に届け出るものとする。

2 前項の規定による申請の取下げがあったときは、当該申請に係る助成金の交付決定はなかったものとみなす。

(変更承認等)

第9条 助成事業者は、助成金の交付決定を受けた事業（以下「助成事業」という。）について、事業内容を変更し、中止し、又は廃止しようとするときは、あらかじめ助成事業変更等承認申請書（様式第3号）により、市長に申請し、その承認を受けなければならない。

2 市長は、前項の申請があったときは、速やかにその内容を審査し、変更等の可否を決定し、所定の助成事業変更等承認（否認）通知書により当該申請をした助成事業者に通知するものとする。

（実績報告）

第10条 助成事業者は、助成事業が完了したときは、速やかに実績報告書（様式第4号）に、関係書類を添えて市長に報告しなければならない。

（助成金額の確定）

第11条 市長は、前条の報告があったときは、速やかにその内容を審査し、助成事業の成果が助成金の交付決定の内容及びこれに付した条件に適合すると認めたときは、交付すべき助成金額を確定し、助成金額確定通知書（様式第5号）により助成事業者に通知するものとする。

（助成金の交付請求及び交付）

第12条 助成事業者は、前条に規定する助成金額の確定通知を受けたときは、助成金交付請求書（様式第6号）により市長に助成金の交付を請求するものとする。

2 市長は、前項の請求があったときは、速やかにその内容を審査し、適當と認めたときは、助成金を交付するものとする。

（助成金の概算払）

第13条 市長は、助成事業について必要があると認めるときは、助成金の概算払をすることができる。

2 助成事業者は、概算払を受けようとするときは、助成金概算払請求書（様式第7号）により、市長に請求しなければならない。

（助成金の交付決定の取消し）

第14条 市長は、助成事業者が次の各号のいずれかに該当したときは、助成金の交付決定を取り消すことができる。

- (1) 偽りその他不正の手段により助成金の交付を受けたとき。
- (2) 規則第4条各号のいずれかに該当することとなったとき。
- (3) 助成金を助成事業の目的以外に使用したとき。
- (4) 助成事業の実施方法が不適當と認められるとき。
- (5) 助成事業を中止又は廃止したとき。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、助成金の交付決定の内容又はこれに付した条件その他この要綱に基づく命令に違反したとき。

2 前項の規定は、助成事業について交付すべき助成金額の確定があった後においても適用があるものとする。

3 市長は、第1項の規定による取消しをしたときは、所定の助成金交付決定取消通知書により、助成事業者に通知するものとする。

（助成金の返還）

第15条 市長は、前条第1項の規定に基づき助成金の交付決定を取り消した場合において、助成事業の当該取消しに係る部分に関し、既に助成金を交付しているときは、期限を定めて、その返還を命じなければならない。

2 市長は、助成事業者に交付すべき助成金額を確定した場合において、既にその額を超える助成金を交付しているときは、期限を定めて、当該確定した助成金との差額の返還を命じなければならない。

（調査等）

第16条 市長は、助成事業の適正な執行を確保するために必要な限度において、助成事業者に対し、書類の提出若しくは報告を求め、又は必要な調査をすることができる。

（整備保管）

第17条 助成事業者は、助成事業に係る帳簿及び関係書類を整備するとともに、助成事業の完了した日の属する年度の翌年度から起算して5年間保管しなければならない。

（その他）

第18条 この要綱に定めるもののほか、助成金の交付に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

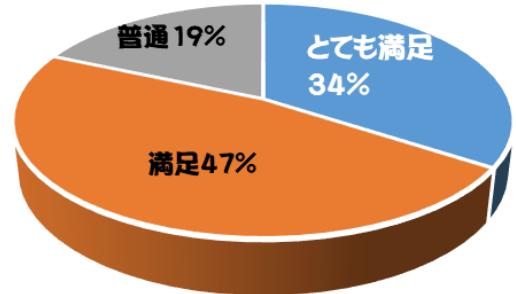
この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

令和6年度活動発表会 【発表団体向けアンケート結果（対象：子ども）】

アンケート回答数：38人

問1 活動を終えた今の気持ちを教えてください。

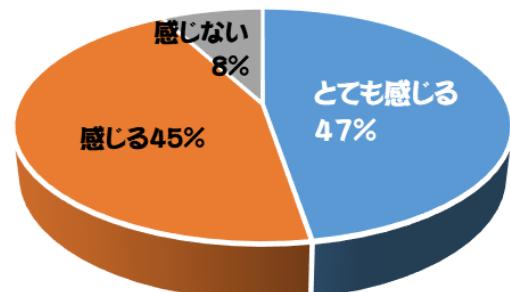
- ・計画したことことができた。
- ・最初にたてた計画通りに実行できた。
- ・活動における工夫をしたり、審査員さんからの意見を知り、自分たちの活動を振り返る良い機会になったから。
- ・メンバーと協力したり、イベントに来た人に楽しんでもらえたから。
- ・目標に対して十分な、満足できる成果ではなかったと感じるから。
- ・予定したイベントは全てを行い、終えることができた。しかし、イベントは小規模かつ、ターゲット層が一部に絞る形となってしまったから。次年度はさらなる活動の幅を広げていきたい。
- ・発表するのがあまり得意ではないけどできた。達成感を感じている。
- ・色んな人と出会え、色々な所を知れたから！！
- ・がんばったから。
- ・活動が楽しかったから。
- ・地域の自然を大切にできたり、地域の良いところをたくさん知れたから。
- ・がんばって発表したから。
- ・最初は、活動のことで分からぬことがあったけど、今では活動するのが楽しい。
- ・みんなとワイワイ、楽しく活動できたから。
- ・活動をいろんな人に見ていただき、計画にない会や、集まりにたくさん呼んでもらえた。私たちの活動を多くの方に知ってもらえたのを実感できた。
- ・やりたいことができた達成感に満たされているから。
- ・みんなといろいろできてよかった。
- ・地域の方との交流が多くなったし、地域の祭りなどでも活躍できる場面が増えて良かった。
- ・がんばったから。
- ・私たちなりに、集大成として活動することができたと思う。でも、もうちょっと濃い活動もできたと思うなど、反省点はまだまだあります。
- ・3年間続けて活動ができたこと。色々な人とのつながりを築くことができ、人として成長したと感じるから。
- ・理想よりは活動の回数をとれなかったが、当初の目的を達成し、外部の人（特に小学生）とたくさん関わることができたから。
- ・自分がしたいと思ったことができて、子供達に楽しんでもらうことができたから。
- ・活動を通して交流ができたり、高知を知ってもらえたけど、もっと深い活動にしたかった。
- ・イベントを開催することができ、参加者に楽しんでもらうことができたが、参加者が想定していたよりも少なかったから。
- ・グループより個人に仕事がかたまっていた。
- ・想定していた人数や規模でイベントを開催することができなかった。
- ・無事に問題なく活動を終えることが出来たから。



- ・自分自身、活動に参加することが苦手だったため、勇気を出して参加し、無事終わってよかったです。
- ・活動を通して、目標としていた国内外に日本文化を広めることができた。
- ・計画していたことは、できたから。
- ・1年間辛いこともあったが、やりきったという満足感と、計画通りに上手くいかず当初の予定とは変更点が多かったという点で、十分に満足はできていない。
- ・日本文化を伝える活動にたずさわることができたが、天候などで予定通りにできないこともあったため。
- ・最後の年（高3）ということもあり、自分が満足に活動に参加できなかったから。
- ・何度も活動に参加できなかったから。
- ・校内の活動はよく出来たが、校外の活動をもう少しやりたかった。
- ・イベントに参加させていただけた事が、とてもうれしかった。
- ・イベントに参加していただけたことはあったが、自分達が他団体主催のイベントに参加したりと、開催予定のイベントとかに話をもちかけて参加したりしたかった。

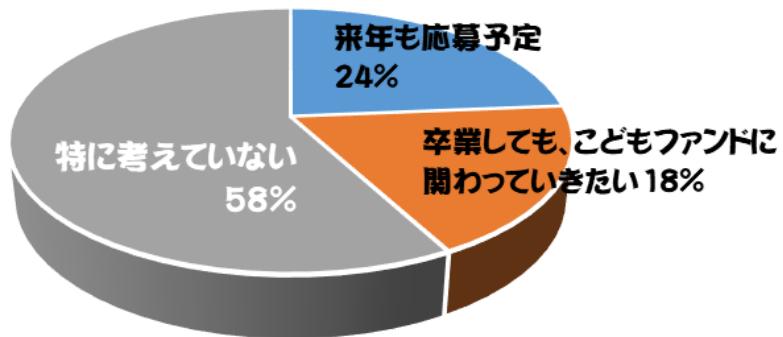
問2 活動をとおして、自分は成長したと感じますか。

- ・チラシなどのデザインの経験を積むことができたし、政治の知識も得ることができた。
- ・イベント開催における準備に、どのようなものがあるかを学ぶことができた。
- ・計画性や集客の難しさ等課題を自覚する一方、継続してできたなど、いろいろ知れることができたから。
- ・自主的に活動を行い、地域などの社会とつながれたところ。
- ・公的な資料を作成したり、他の方とやりとりする際のメール形式を学んだり、団体を運営するにあたって試行錯誤しながら活動できたから。
- ・自主性、挑戦を行う力、積極性を高めることができた。
- ・人前に立って発表する力
- ・コミュ力、旭を発信する力
- ・発表する時あまり緊張しないこと。
- ・人の前で話せるということ。
- ・地域の人といろんな活動ができるようになつたところ。
- ・活動の最後にいつも感想を言うが、みんなの前で言うのは苦手だったけど、活動の最後に感想を言うことで得意になった。
- ・人をまとめる力→こども代表者として小中学生をまとめる力を養えた。自分の住んでいる所の魅力を知ることができた。自分の地域を好きになった。
- ・主体性、協働性、コミュニケーション能力等つけることができた。
- ・みんなと、一緒に協力できるようになった。
- ・みんなの前に立って、意見を言ったりできるようになった
- ・自己管理能力が上がったと思う。
- ・大人とのかかわりかた。話し合いで、積極的に自分の意見を言う。メールや電話などのまめな連絡や対応に自分の成長を感じることができた。



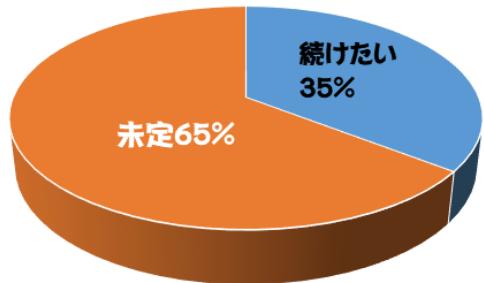
- ・チームのみんなと協力して、期限までに成果物を作成したり、外部の方と電話やメールでやりとりする力がついた。
- ・計画性を身につけることができた。
- ・連携のための連絡をとることや、協働スキルを身に付けることができた。
- ・計画を立てたり、準備をすることが上達した。
- ・自分は会計を務めたことから金への考えがかわった。
- ・大人の方との接し方や、イベントを開催するときの運営の仕方などを知ることができた。
- ・見識が広がったと思う。
- ・苦手なことにも取り組み、広報のためのチラシのデザインなど今まであまりしてこなかったことにもチャレンジしたこと。
- ・活動をしていく中で、たくさんの人と交流することができ、コミュニケーションスキルが身についた。
- ・学校外の人と関わったり、チラシなどのデザイン経験を積むことができたから。
- ・初めて運営側としてイベントを開催したり、正規メンバーとして活動することで、社会的スキルを多く身につけることができたと考える。
- ・チームで協力することや、広報の方法などを学べた。
- ・活動に対する視点が増えたなど感じる。
- ・社会への関心などが上がったりしたこと。
- ・イベントの運営。発表が上達した。
- ・メンバーと話し合いや、スケジュールについてもしっかり管理し、みんなと真剣に活動が出来たところ。
- ・予定と自分達の活動を両立させるために、しっかり先を見据えて行動することが大事だと知り、成長できた。

問3 これからもこうちこどもファンド事業に関わっていきたいと思いますか。



問4 (こうちこどもファンド卒業の団体へ) 来年度も活動は続けますか。

- ・いろんなことをしたい。
- ・地域の方と連携して行う。
- ・地域のことを自然な形でつづけたい。
- ・久重 youth として地域の方と関わっていく。久重 natural チームもそのまま残し、地域をよりよくする活動を行っていきたい。
- ・久重 youth としての活動も行いたい。様々な賞をいただいているので、そちらの副賞金も利用していきたい。
- ・協力して、続けたい。
- ・久重地域を知ってもらえるような活動をしたい。
- ・できるだけ費用をかけないように活動をしていき、どうしても時はクラウドファンディングを利用する。
- ・学校内のボランティア助成金を使用して活動を続けたい。
- ・こどもファンドへ応募するのは最後になるが、自分でお金を出したりして活動は引きついでいきたい。



問5 こうちこどもファンドで活動した感想や今日の発表会の感想など、みんなの思いのだけを自由に書いてください。

- ・とても貴重な体験ができた。
- ・一年間の活動はたくさんの学びや出会いがあり、楽しかったです。たくさんの活動があった分、発表時間が3分というのは短いと感じました。
- ・すごくいい経験になりました。ありがとうございました。
- ・様々な団体の1年間の成果を知れて、おもしろかった。
- ・自分たちの団体の改善点を解決できそうな、参考になる活動をしている団体の発表を聞けてよかったです。
- ・楽しかったです！もっと他団体の取り組みについて知りたいので発表の時間を3分ではなく、7分にして頂けたら幸いです。
- ・同年代のいろんな取り組みが知れてよかったです。
- ・色々な場面でバタバタしたけど良い形で終われ良かったです。これからも旭をもりあげます！！
- ・がんばって発表することができた。
- ・どのチームも素晴らしい発表だった。
- ・たのしかった。
- ・最初は、できないことがいっぱいあったけど、これまでの活動を続けてきて地域のこと、自然のことを知ることができたので良かったです。
- ・こどもファンドのたくさんのチームが、どんなことをしているかが今回の発表でわかりました。
- ・初めての参加は小学生のときでした。7年（コロナを除くと6年）の間、こどもファンドに機会と助成金をいただき、わたしたちは活動を続けていくことができました。地域がよりよくなると

共に、私たち自身も成長できたと思います。多くの貴重な経験をさせていただき本当にありがとうございました。来年度からも久重 natural チーム、久重 youth の活躍をみていただけると幸いです。

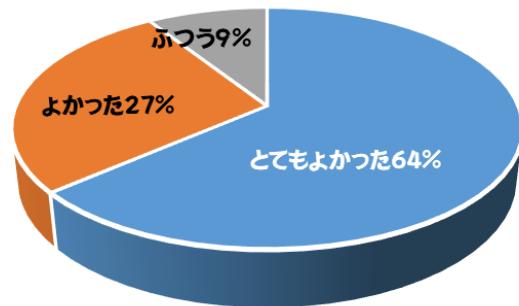
- ・長い間お世話になりました。ありがとうございました。
- ・はずかしかったけど、楽しかった。
- ・こうちこどもファンドの活動で地域の魅力をくわしく知ることができた。
- ・ふつう。
- ・色々な活動をしている団体に出会えて、自分の未熟さを少し認識した。でもとても楽しかった。
- ・発表会の設営ありがとうございました。普段、こどもファンドグループ同士での交流が少ないのですが、この発表会で1年間みんなが何をしてきたのか知ることができたことと、同じこどもファンドグループのみなさんの活動が私たちにいい刺激になるので、今日一日で、たくさん成長することができました。
- ・こどもファンドで3年間活動して、色々な学びや気付きを得ることができました。お金を給付いただける制度は、活動の中ですごく大事だなあと思ったし、できれば年下の世代の子たちにも経験をしてほしいです！もちろん自分の活動を踏み台のようにしていければと思います。多大なるご支援、ありがとうございました。
- ・自分達が主催イベントを開催することができてうれしかった！また、発表会では多くの人に自分達のイベントを紹介できて楽しかったです！
- ・もっと深い活動にしたかったけど、楽しめたから良かったです。
- ・個人としては初めて参加しましたが、他の団体が高知でどんな活動をしていたのかを知れたり、実際に活動して、イベント実施の大変さなどを知ることができました。ありがとうございました！
- ・こどもファンドの目的とかみあうものを作ればいいと考えた。
- ・こどもファンドでイベントを開催したり、様々な機関とコミュニケーションをとる機会が多く、場数をふむことで成長できました。発表会では、他団体との交流、発表をとおして刺激になるところが多かったです。ありがとうございました。
- ・今回様々なグループの発表を聞いて、色々な視点から物事を見ることができた。
- ・こうちこどもファンドで活動したことと、地域の課題などをあげ、活動している多くの方と交流することができ、この一年多くの刺激をうけることができました。
- ・多種多様なチームと活動があって、新しい視点を得ることができた。
- ・とても貴重な体験でした。
- ・同世代の高知清掃隊様の活動の規模が大きく、広い取組みに感動した。
- ・小学生の頃にも、学校で応募したことがあったが、その時よりも自分たち主体で行うことができたと思う。
- ・NeoVoting 報告書「6 今後の展望」が途切れているのが勿体ない。確認をお願いしたい。
- ・今まで支援してもらいありがとうございました。今までの活動を今後にいかしていきます。
- ・今回の発表で他の団体もみんなが様々な工夫を重ねて地域の方々に興味を持ってもらうような活動を考えていたすごいと感じました。
- ・貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

令和6年度活動発表会【こども審査員向けアンケート】

アンケート回答数：11人

問1 本日の発表はよく分かりましたか。

- 多くの人の発表を聞くことができて、質問に答えてもらうことで、そのチームの活動の理解を深めることができた。
- 子どもたちがいろんな活動を実施し、その内容もおもしろいものだった。
- 具体的に発表していたし、年数をかさねて大きな変化を感じることができたのでよかった。
- 長年の活動の中での成長や変化を感じることができた。
- 前回の活動発表会が長かったので、「よかった」にした。
- 活動の結果（内容）が知れたから。
- 様々な活動をしていることを知って、活動、イベントに参加したいと思った。
- いろいろなチームの発表が分かりやすかった。
- いつもと（これまでと）かわらない。
- 活動内容の発展をとても感じることのできる発表会だった。
- 卒業する団体がある中での発表で、それぞれ去年より濃い内容の発表だった。



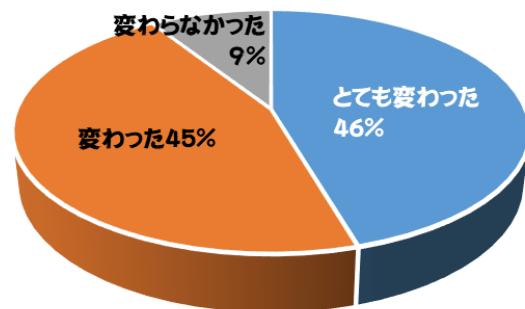
問2 こども審査員をやってみて、どうでしたか。

- 同じ年齢の人だけではなく、小学生や中学生の柔軟な意見や考えに触れることができたため、自分自身の新しい視点の学びになった。
- 自分にはない知識をたくさん取り入れることができ、楽しく感じた。
- 団体の方々とたくさんの意見をかわすことが楽しかった。
- 発表を聞いて質問をするだけではなく、イベントに参加できるという点で、1年間とても楽しかった。
- 地域のためにお金を団体にあげる←少し分からず…。
- 町を内側から見ることができた。
- 貴重な意見を聞いてよかった。
- いろいろなチームの発表を聞くことが楽しかった。
- 楽しいから。
- 活動をより良くするためには何が必要か、自分なりに考える機会となった。
- いろいろな地域の人たちと出会え、新たな考え方をいろいろ教わった。

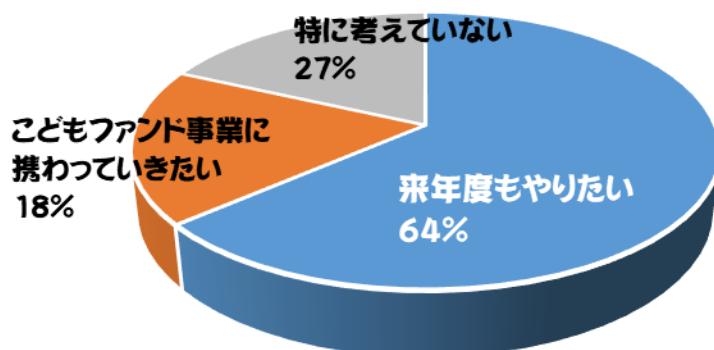


問3 こども審査員をやってみて、自分の行動や考え方方が変わりましたか。

- ・もっと意見の交流をすることで、その人その人の新たな面や新しい視点で見ることのできる力を得ることができたため、人の意見をしっかり聞くことはできる人間になれたと思う。
- ・子どもにできることは、少なく、小さいものだろうと考えていたが、想像していたよりたくさんイベント、規模の広い活動ができることを知り、考えが変わった。
- ・最初のころは、あまり質問などをすることができなかったが、今は、自分から手を挙げて質問することができるようになった。
- ・同学年とのつながりだけでなく、様々な人と交流し、つながることができたから。
- ・上級生（目上の人）にたいする言葉づかいなど変わったなーと感じたから。
- ・たくさんの考えを聞いたから
- ・色々な団体が、身近な場所で活動していることを知って、より活動を知りたいと思った。
- ・深く考えることができた。
- ・逆（活動団体）だったら、もしかしたら変わったかもしれない。
- ・自分がまちづくりに一役買っているのだと、身をもって感じるようになった。
- ・違う年齢層の意見を聞いて、今までない考えがあった。



問4 これからもこうちこどもファンド事業に関わっていきたいと思いますか。



※ 団体として応募したいと答えたこども審査員は0人でした。

問5 こども審査員してみて、心に残っていることや、今日の発表会の感想など、自由に書いてください。

- ・最初は、私が人に意見を言えるだろうか？人前で話せるだろうか？などを考えていましたが、こども審査員同志での意見交流のなかで、自分が言ってもいいと感じられ、堂々と活動に参加することができました。前々から参加していたこども審査員の人と、私のような今年初めての人とは考えが違うとも感じました。
- ・はじめは分からぬけどやってみようという思いでの参加でしたが、学ぶことが多くあり、自分の身にもなる経験ができたと感じています。
- ・いろんな団体の成長した姿や活動を見ることがで楽しかったです。
- ・今年は審査会しか関わることができなかつたので、来年度は、イベントにも関わりたい。毎年アップデートしているこうちこどもファンに、今年も関われて楽しかったです。
- ・とてもこども審査員が好きなので、来年、再来年も続けたいです！
- ・みんなイベントなどをして成長していくすごいと思った。
- ・団体によって行われる活動が違っていて、いろんな考え方があると思った。
- ・発表することが苦手だから、また参加して発表したいです。
- ・あまりない。
- ・来年度以降はOBとして活動の発展に携わっていきたいと思っています。
- ・もう少し、内容を読みこんでくるべきだった。

こうちこどもファンドへご寄附をいただいた皆様
ご支援ありがとうございました！

令和7年10月1日時点

	企業・団体（50音順）	寄附年度
1	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 (ゆにぞんスマイルクラブ) 様	H30・R4
2	I D E A L 設計 様	H30
3	旭環境スポーツ施設株式会社 様	R3
4	一般財団法人高銀地域経済振興財団 様	H26
5	伊東電氣有限会社 様	H30
6	入交道路施設株式会社 様	R1・2・3・4・5・6
7	医療法人仁栄会 島津病院 様	H25
8	VERTECHNO株式会社 様	R1
9	内田塗料株式会社 様	R4
10	Gaku建株式会社 様	R5・6
11	学校法人日翔学園 様	R1
12	和建設株式会社 様	H25
13	株式会社アルゴ 様	R3・4・6
14	株式会社アルファドライブ高知 様	R1
15	株式会社インターナカツ 様	R1・6
16	株式会社ウエストアライアンス 様	R6
17	株式会社オーエス・エンジニアリング 様	H30・R4
18	株式会社開洋 様	R3・4
19	株式会社掛水環境研究所 様	R4
20	株式会社片岡電気工事 様	H24、R3・4・6
21	株式会社岸之上工務店 様	H25
22	株式会社北村塗装店 様	R5
23	株式会社国見開発工業 様	R3・4
24	株式会社栗田商店 様	R5・6
25	株式会社黒岩設計 様	R4
26	株式会社 KCC 高知支店 様	R5
27	株式会社ケンジン 様	R3
28	株式会社公職研 様	H25
29	株式会社高知クリエイト 様	R6
30	株式会社高知タマモ 様	H24
31	株式会社高知ビーフ 様	H30
32	株式会社高南メディカル 様	H30、R1・3・4・6
33	株式会社コトブキ 様	R4
34	株式会社C I J ほくでん 様	R1・3
35	株式会社シグマ設備設計室 様	R4
36	株式会社四国機電 様	R1・2
37	株式会社四国建設センター 様	R3
38	株式会社四国清掃工業 様	H24・26・28・29・30、R1
39	株式会社四国相互手形センター 様	H25
40	株式会社四国ポンプセンター 様	H24、R1・4・5・6
41	株式会社ジャクエツ 高知店 様	R5
42	株式会社昌栄建設 様	R4
43	株式会社勝賀瀬建設 様	R4
44	株式会社照和建設 様	R4
45	株式会社昭和電気工業 様	R5・6
46	株式会社シンゲン 様	H30、R1・2・3・4・5・6
47	株式会社伸光堂 様	R5
48	株式会社シンテック 様	H24
49	株式会社西部技研 様	H30
50	株式会社セイミツ 様	H24
51	株式会社総合企画設計 様	H30・R4

こうちこどもファンドへご寄附をいただいた皆様
ご支援ありがとうございました！

令和7年10月1日時点

	企業・団体 (50音順)	寄附年度
52	株式会社双電社 様	H24
53	株式会社そーむ 様	R4
54	株式会社ダイセン 様	R3・4
55	株式会社大東電機 様	R5
56	株式会社タカチ測建 様	H30
57	株式会社津島工業 様	R3・4・6
58	株式会社常光電機 様	R3
59	株式会社道路交安 様	R4
60	株式会社永野基礎 様	H30、R2
61	株式会社濱田水道工業 様	R5
62	株式会社響建設 様	R3・6
63	株式会社ビル環境衛生管理 様	R5
64	株式会社弘田電器 様	R1・3・4・6
68	株式会社富士美装 様	R6
66	株式会社フタガミ外商部 様	R6
67	株式会社豊栄電気工事 様	H27
68	株式会社松井ビル 様	H24・25
69	株式会社ヤマサ 様	R5・6
70	株式会社ヤマト電設 様	R3
71	株式会社ヨシカワ設備 様	R1
72	株式会社ライフラインサービス 様	R3・4
73	株式会社リーブル 様	R4
74	株式会社若竹まちづくり研究所 様	H30、R1・3・6
75	企業組合高知中高年事業団 様	R4
76	協和運輸株式会社 様	R4
77	紀和工業株式会社 様	H30、R6
78	楠瀬ミシン商会 様	R4
79	黒潮電機株式会社 様	R5
80	構営技術コンサルタント株式会社 様	H30
81	高知黒潮ライオンズクラブ 様	H25・26
82	高知ケーブルテレビ株式会社 様	R6
83	高知市職員労働組合 様	H24
84	高知市まちづくり未来塾 様	H26
85	高知重炭株式会社 様	R1
86	高知市旅館ホテル協同組合 様	H24
87	高知スタンダード石油株式会社 様	H24、R2・3
88	高知県青年読売会 様	H26
89	高知日産プリンス販売株式会社 様	R3
90	高知日野自動車株式会社 様	R4
91	高知ビルメンテナンス協同組合 様	R4
92	高知プラントサービス株式会社 様	R1・5
93	高知南ライオンズクラブ 様	H24
94	高知民謡クラブ 様	H26
95	高知緑化建設株式会社 様	H30、R3
96	国際ロータリー第2670地区 様	H25
97	さくらハイヤーグループ 様	R1
98	三愛オブリカスタマーサービス株式会社 様	H25・26・27・28・29・30、R1・2・3・4・5・6
99	三共工業有限会社 様	H24
100	三洋建設株式会社 様	R5・6
101	四銀総合リース株式会社 様	R6
102	四咲会（四国銀行よさこい咲都支店後援会） 様	R1
103	昭栄設備工業株式会社 様	H30

こうちこどもファンドへご寄附をいただいた皆様
ご支援ありがとうございました！

令和7年10月1日時点

	企業・団体 (50音順)	寄附年度
104	新進建設株式会社 様	R 3・4・6
105	鈴木建設株式会社 様	R 4・5・6
106	大旺新洋株式会社 様	R 3
107	太平産業株式会社 様	H24・28
108	大和リース株式会社 高知営業所 様	R 5
109	田岡土地家屋調査士事務所 様	R 3
110	東京テクニカサービス株式会社 ドコモショップ愛宕店 様	H24・25・26
111	特定非営利活動法人こうち高齢者福祉事業団 様	H30・R 4
112	特定非営利活動法人高知市こども劇場 土佐チル 様	H30
113	とさでん交通株式会社 様	R 5
114	土佐通信システム株式会社 様	R 5
115	トヨタL&F西四国株式会社 高知支店 様	R 3・4・5・6
116	西村商工株式会社 様	H24、R 1・4・5・6
117	日進設備工業株式会社 様	R 3
118	ニッポン高度紙工業株式会社 クラブえふ 様	R 1
119	ニッポン高度紙工業株式会社 様	R 1
120	パシフィックソフトウェア開発株式会社 様	H24
121	福留開発株式会社 様	H24・30
122	丸仁商事株式会社 様	H24
123	丸平工業株式会社 様	R 5
124	ミセスオブザイヤー四国事務局 様	R 5・6
125	モリデンキ 様	R 4
126	モリミツ石油株式会社 様	R 6
127	山下電機株式会社 様	R 3・4・6
128	有限会社愛機工業 様	R 3・4・6
129	有限会社大石電機 様	H24・25・28
130	有限会社桂塗装 様	R 1
131	有限会社高知ダルマ電機 様	R 3・4・6
132	有限会社寿運送 様	R 1
133	有限会社城西電気 様	R 1・6
134	有限会社ゼネラル物流 様	R 4・6
135	有限会社タック 様	R 3
136	有限会社タナノ電気 様	R 1・4・5・6
137	有限会社田部興業 様	H30、R 2・3・4・6
138	有限会社東央警備 様	R 4・5・6
139	有限会社長崎電機 様	R 5
140	有限会社西純電業 様	R 4
141	有限会社フジムラ 様	R 5・6
142	有限会社舞高電設 様	H30、R 2・3・4
143	有限会社丸栄自動車整備工場 様	R 3
144	有限会社ヨシコー建設 様	H30
145	有限会社吉田設備 様	R 3
146	有限会社ルート設計事務所 様	H30
147	有限会社ワープ 様	R 6
148	よこせと・まちづくり市民会議 様	H26
149	読売センター高知長浜 様	H26
150	依光内科クリニック 様	H25
151	ワシオ工業株式会社 様	R 4
152	和住株式会社 様	R 2
153	和住グループ 様	H26
	ほか13社	

こうちこどもファンドへご寄附をいただいた皆様
ご支援ありがとうございました！

令和7年10月1日時点

	個人（50音順）	寄附年度
1	石川 智 様	R 3
2	大石 健司 様	R 3・4・5
3	オーツク大野 芳絵 様	R 3・5
4	影浦 藻汐 様	H25
5	家古谷 優 様	R 4
6	梶原 太一 様	H26・30、R 1・2・4・5・6
7	片山 晴紀 様	R 3
8	門田 銀郎 様	H25
9	門田 舜一郎 様	H25
10	門田 徳之助 様	H25
11	上村 辰也 様	R 3
12	志賀 舞 様	R 3
13	田所 伸雄 様	H24
14	田畠 勇太 様	R 3
15	比嘉 孝平 様	R 3
16	久川 憲四郎 様	H25・27・28・29・30、R 1・2・3・4・5・6
17	益岡 美妃 様	R 2・4・5
18	益永 律子 様	R 3・4・6
19	水野 志乃ぶ 様	H25
20	三谷 めぐみ 様	H25
21	森 正 様	R 3
22	山本 吾一 様	H27
23	山本 康二 様	R 3
24	吉村 修二 様	R 3
25	石川 智 様	R 3

多くの善意をお寄せいただき

ありがとう
ございました



【発行】

高知市 市民協働部 地域コミュニティ推進課
〒780-8571 高知市鷹匠町2丁目1-43

TEL／088-823-9080

FAX／088-824-9794

＜令和7年12月発行＞